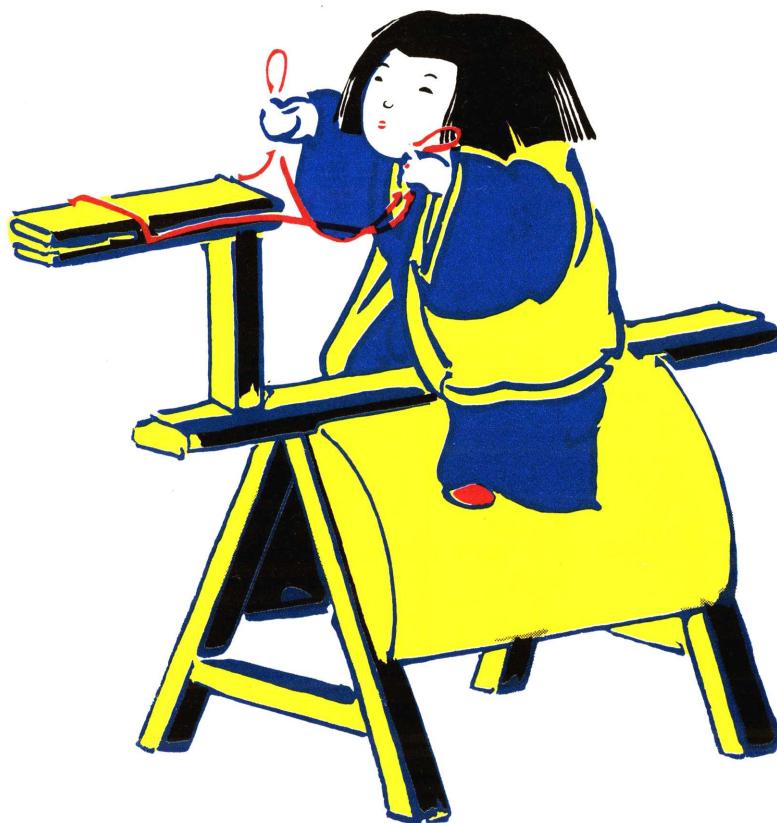


幼兒之教育



號四第 號月四 卷二十四第

東京女子高等師範學校內會日幼稚園協會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

(五版)

改訂系統的保育案の實際

定價 金壹圓參拾錢 送料 金 六 錢

初版以來廣く参考の資料させられた本書は、時局下幼兒保育の再認識、特に國民學校の新制に對する用意の必要から到底舊版のまゝに止まるこを許されなくなりました。全體に亘る改訂と増補を以て茲に此の新版を供する次第であります。

日本幼稚園協會編

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

(再版)

幼稚園談話集(四版)

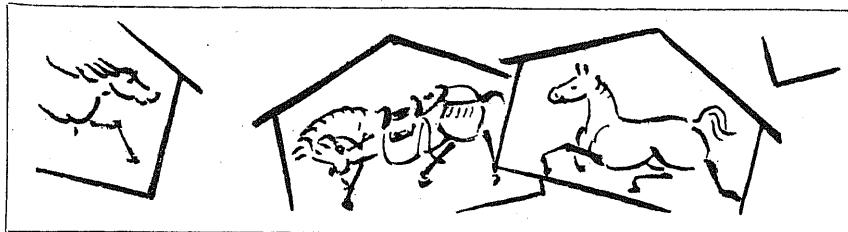
菊判一三〇頁 定價金壹圓
送料三五〇頁 定價金壹圓五拾錢
地方・北海道・臺灣・滿洲
樺太・朝鮮

六金拾五錢

幼兒の實際
觀察の實際
幼兒の教育(月刊)

菊判一三〇頁 定價金壹圓
送料東京市内金六錢 其他 金九錢
一ヶ月 金參拾五錢 送料金一錢
一年 金四圓貳拾錢 送料共

大東亞戰爭必勝完遂



第十四號 幼兒の教育 卷二十四

——(次) 目——

五月の保育	倉橋惣三(一)
幼稚園の音樂	堀七藏(二)
講習上國民學校理數科の實際(その四)	石井庄司(九)
講座萬葉に於て日本的感情を見る(四)	小菅和江(三)
幼稚園の音樂	
五月の保育	
生活訓練	倉橋惣三(六)
自由遊戲	上遠文子(八)
遊観	古澤靜子(十)
遊戲	清水光子(四)
談話	志村貞子(五)
手技	及川ふみ(六)
誘導保育	菊池ふじの(九)
五月の園藝	大岩金(三)
各地幼稚園	松浦イキ子(五)
だより 小倉幼稚園・郡山幼稚園	島義友(四)
講習上児童心理學(三)	(四)
月刊「幼兒の母」に就て	
幼兒の母	
我子を入園させる心(題言)——幼稚園から——幼稚園の樂しさ(倉橋惣三)	
子供向きお菓(佐々木理喜子)——四月の衛生(齊藤文雄)	

最も優れた保育用具一

日本教育紙芝居協會・製作

幼児の紙芝居

キレイナ繪
タノシイオ話

保育向特輯新刊作品

お山の向ふはお祭りだ

小鳩のボツボちゃんは山の向ふのお祭を見に行き、赤ちゃんの離した風船を捉へてあげてお豆を澤山貰ひます

みんなのために

子鳥のためにやつと餌を探して歸る途中仲間が鷹と闘かつて弱つてゐるのを見た母鳥は敢然餌を捨て仲間を助けたが……

きれいな虹の下

ロバサンは 小兎、リス、オ猿さんたちをお母さん代りになつて遊ばせてみますが手がたりないのでブタ吉君に

金太郎さん角力の巻

足柄山に赤ちゃんが生れました。お山の動物達は大喜び、金太郎さんは毎日動物達と遊んだり勉強します

鶯になつた春子ちゃん

鶯を買つて貰つた夜、春子ちゃんは鶯になつてお山の方に飛んで行く夢を見ますが鶯の春子ちゃんは捕まつてします

紙芝居の効果を完全に發揮する
には完全な舞臺が是非必要です

保育所用 定價四圓
荷造送料一圓

豪華版 定價拾四圓
荷造送料實費

舞

台

第三回特輯 保育紙芝居

- | | | | |
|--------------|----------------|---------------|-----------------|
| ◆オオトギ列車 + | ◆コザルノキヨクゲイ + | ◆新チャント赤トンボ + | ◆ヒヨコノトモダチダレントグレ |
| ——色刷寫眞の豪的な作品 | ——サシコミ澤山の立体紙芝居 | ——動物への愛情と折紙指導 | ——數のおけいこ記憶力の養成 |
| 故 | サシコミ八枚 | サシコミ一枚 | サシコミ三枚 |

五種一組・特價八圓
幽入・送料不要

一寸法師

◆アシノクチビ公物語

◆印度の山奥に八萬匹の手下を從ひといた人ほつちのお爺さんが大切に育ててお留守にした小犬のチビ公がお爺さんのお留守に素晴らしい手柄をします

虎チャントヒコーキ

意地悪の虎ちゃんは大切なモコーキを犬にとられてからは大變おとなしくなります

送價二、〇〇〇

東京市京橋區銀座四丁目一番地
電話京橋(56)自五二〇一一番至五二〇三番
振替東京一一〇八〇八〇八番

紙芝居に少しでも關心をもつちの方は是非日本教育紙芝居協會へ御入會下さい。會費年額二圓五十錢(雜誌「紙芝居」(書店賣卅錢)無料配布他特典多し)

發行所

日本教育畫劇株式會社

戰時幼稚園

忠勇に對する感激と感謝 (三)

倉橋惣三

忠勇に對する感激と感謝は、日本國民の最大の至情であり、兒孫に傳へずしては居られない心である。それが及ぼす國民教育上の效果の絶大なのは言をまたないが、その效果のためである前に、先づ自ら語らざるを得ない、われら自身の心のほこばしりである。實に忠勇の精神こそ、日本人として誰れでももの心に内藏潛在するまごころであつて、それが、特に強調擴大せられるの機會を得る毎に、之れを我れに感じ、他に感ぜしめずしてはゐられないのである。

たゞ、その機會を史上に求むるのが、從來の常であつた。之れ素より貴重なる機會であり、又以て、此の精神の如何に古く日本的なるかを併せ想はしめるものである。しかし、史上の機會は、そこまでも過去の史實であつて、現在の事實感からは隔てなきを得ぬ。物語となることによつて、史的藝術力を加ふるゝ共に實感の切迫性に、時に稀薄ならざるを得ぬ。更に又、その強烈なる史實が感激を與ふるこゝの強きに比して、感謝を感じしめるこゝはむづかしいかも知れぬ。少くも未だ國史の全體的把握なく、史實の因果的理解なき幼児にこつては、その困難たるを免れぬ。史上の忠勇を語るに當つて、感激に止まらず感謝に至らしめるこゝの必須は何人も用意を怠らないが、その實現は、歴史教授の可能性の上にのみ完ふし得るものでもあらう。而して、感謝に至らざる感激だけでは、折角の忠勇が一個の英雄談になつたりすることがある。これに對し、今日は實に、今日は實に、忠勇の感激を觸發せしめられる貴き事實が、目の前にあり、耳に近くあり、史化せられるこゝなく、物語化せられるこゝながく、ありのまゝのいき／＼しさに於て、次から次へ與へられてゐるのである。それに對する語るものゝ感激もなまくしくも又閃々としてゐる。傳へられるものゝ感激も亦なまくしくも又閃々たらざるを得ぬ。

殊に、今日は實に、一切の忠勇が直接の感謝そのものに他ならぬのである。英雄主義的讚嘆讀美よりも、もつさ／＼深いしみ／＼とした感謝こそ、今日の忠勇への實感である。それは、幼児に對しても、そのまゝに傳はらずしてはやまぬ實感である。それにも即ち、忠勇に對する日本國民としての一番眞實な實感が、幼き心ながらにも實感せしめられてゐるのである。

今日は實に、何んたる大きな國民教育が生きて行はれてゐる時であらう。史的理解なさに訴へ難い幼児教育にこつても、眞に活きた國民教育の出來てゐる時である。假りにも吾等の怠りによつて、此の機會を活かし足らないこゝがあつては済まない。

誌 講 習 上

國民學校理數科の實際（その四）

東京女子高等師範學校附屬國民學校主事 堀

七 藏

更に初等科第二學年では第二學年の各教科書に於ける教材の連絡が十分考量せられてゐると共に、第一學年の教材も圓周的な配列をなして同じ教材ではあるが、そこにだん

く程度を高めると共に相互の連絡をも十分考量せられてゐるのであります。殊に理數科に於てその著しきを見るのであります。

初等科第二學年教材連絡一覽表

月	四	月
	ヨイコドモ(身下)	ヨミカタ(三語)
	一、二年生	一、春(韻)私は
	二、 サイケイレ イ	二、春(韻)花まつ
	三、 らくかさん	三、 らくかさん
	四、 二重橋 (韻文)	四月ノ雜題
		二、年生ニナツ
		時間ノ時刻ニナツ
		時間ノ時間ノ導入
		概念養入
		三、春の種まき
		三、春の野
		一、季節だより
		二、春が來た
		二、さくらさく
		一、春が來た
		いろ
		春が來た
		ひよこ
		学校のきんじょ
		ふでたて
月		カズノホン(三教)
		自然の觀察科
		ウタノホン(下樂)
		テホン(下)
		字
		エノホン(三工作)

十	月	十	月	九
十四、稻カリ	十三、メイヂセ	十一、ウヂガミ	十一、キモンブン	二十二、うさぎ とだぬき
七、かぐやひめ	五、菊の花 (韻文)	一、富士山 (韻文)	二十六、うらし の朝	二十三、自動車
トトノ位数トトニ 目側等ヲ含ム	トトノ位数トトニ 加減トトニ 計算入	トトノ位数トトニ 既加減於ケノ 月習題	トトノ位数トトニ ノ加減(導入ト 計算練習圖計 算柿ノタネ、朝 祭	トトノ位数トトニ 加減(導入ト 計算練習圖計 算柿ノタネ、朝 祭
一八、木の實ひ ろひ	一七、きく	一五、秋の種ま	一四、種とり	一三、へちま
十二、菊の花	十一、富士の山	十、朝の歌	九、長い道	
らゆき	さむぞ	山ごえ	秋ばれ	
ボスター	秋のけしき ひかうき	人 えんそく うらしま太郎 富士山 小鳥の家	お祭 くだもの くだもの	むしかご くだもの くだもの

三	月	二	月	一	月	十	二	月	一
二十、ヨイ子ド		十八、紀元節 十九、日本の國		十七、天皇陛下		十五、コウエン ノシバフ		十、満洲の冬	八、たぬきの腹 つみみ(韻文)
二十三、(韻文) ひな祭	二十九、豆支那の 二十二、金支那の 二十一、豆支那の 二十二、金支那の 二十三、(韻文) ひな祭	二十九、豆支那の 二十一、金支那の 二十二、金支那の 二十三、(韻文) ひな祭	二十九、豆支那の 二十一、金支那の 二十二、金支那の 二十三、(韻文) ひな祭	十四、いさん の入營 十六、雪の日 白兔(韻文) こあげ	十八、 十七、 十六、 十七、	十二、鏡 十三、新年 (韻文)	十一、鏡	十、滿洲の冬	九、金の牛
三月掛算九九 ノ雜題ト計		掛算九 月含ム 圖形正多角計算		掛算九 月含ム 圖形正多角計算		掛算九 月含ム 時間、曆教材		倍長サ、廣サ、 太サ、容積等 ノ指導ヲ含ム ノ溫圖形 指導ノ觀念	メートル法ノ導 身長、理科教 材等練習 材計算題 圖形、雜題 統計教
二五、三月の野		二四、季節だよ りの整理		二三、はねとた		二二、寒暖計		二〇、蟲めがね と鏡	一九、島の手入
二十、羽衣		十九、日本		十七、兵たいさ		十五、お車の戰		十四、たきぐひ ろひ	十三、かけっこ
衣天 松人 原羽		六 七 八		十六、羽根つき ね ぬ ね		十六、兵たいさ あけを むゑ むゑ		た こ は の 音	おもち を つく
勇ましい兵たい		三四五		家 小鳥 もやう		だるません だるまさん		はりがみもやう ちよ金箱 或る日のゑにつ	手紙さし
		おひな様		冬のけしき きげん節 さうがん鏡					

月

二十四、北風と
二十五、羽衣
季節ニユースノ
整理(統計圖形)

は歌 平假名いろ
動ぶつ
學げいくわい

さて初等科第一、二學年の理數科理科の内容は「自然の観察」に示されて居ります。尤も「自然の観察」の教科書として兒童用書は編纂せられてはゐません。算數の兒童用は「カズノホン」として編纂せられて居ますが、「自然の観察」では兒童用が編纂せられてゐないといふには大なる理由があるのであります。算數では實物について取扱はれることが多いためばかりでなく、繪や圖によつて數へたり測つたりいろいろのことをするのでありますから、兒童用の「カズノホン」をこしらへたのであります。そして「カズノホン」の殆ど全部が繪や圖形などであり、「カズノホン」は繪や圖形などに數字や文章が加はつてゐます。この「カズノホン」のやうに「自然の観察」の内容を繪や文章などで表はすと、自然の観察は繪や文章で學習することになつて、真に「自然に親しみ自然から直接學ぶ態度」を養ふことが出來ません。それで特に兒童用書を編纂せず、教師用書だけを参考のやうな程度で編纂せられて居るのであります。そして「自然の観察教師用」に選擇せられてゐる教材は既に表示したところであります。しかしこの教材は東京の近郊を基

準として選定し教師用書にその指導の要領を記載したものであります。故に地方によつて教材を適當に取捨し補充し、或は順序を變更して一層兒童に適切ならしめるやうに努めなくてはならないのであります。この點は同じ理數科でありましても、算數の教材は理科、殊に「自然の観察」に於ける教材とは、非常に相異するのであります。「カズノホン」にある教材は全國殆んど一様でも差支へないのであります。數へさせる實物、處理させる物に多少變化を必要とする程度にすぎないが、「自然の観察」では教材を地方によつて學校によつて著しく變化せねばならぬのであります。例へば「學段の庭」といつても、その内容は學校によつて非常に異なるのでありますから、それゝくその學校の庭を實地に觀察させねばなりません。抽象的に繪によつて「學校の庭」の話をするのではなく、學校の庭の繪を兒童に觀察させるのでもありません。それゝく學校の庭を實地に觀察させることが目的とする教材であります。「春の野」といふ教材も、無論兒童を實地に引率して眼前に展開する春の野を觀察させるのでありますから、その内容は個々別々であります。決して抽象的な「春の野」を繪によつて觀察させる

のではありません。従つてそれべくの教材に豫定する時間も變化あるべきことは當然であります。

II

「自然の観察教師用」では自然の観察に當てる時數を、第一學年六十八時限、第二學年六十三時限としてあります。これは理數科の授業時數を第一、二學年各々百九十時限(一週五時限、三十八週)と見積り、算數の教材とにらみあはせて「自然の観察」に配當したものであります。一週の時數五時限を一定の比率で算數と理科とに配分するのではなく、「自然の観察」には、春秋の好季節に多く、夏冬に少く配當して、自然の観察に便ならしめたものであります。しかし地方によつてはこの配當を變更する必要のあるところもあります。また各教材に配當した時限も實情に應じて適當に伸縮して差支へないのであります。春の野、秋の野の如く教材によつては一日がかりで指導するものがあります。これは校外へ児童を連出して觀察させる場合で、春秋には毎月一回の見當でかやうな教材を選択してあります。しかし學校によつては一日の全部を必要しないところもあります。この場合には餘裕の生じた時間を理科の他の仕事若くば算數にふりむける方がよいのであります。

一時限以上を配當した教材では取扱上の便宜と児童の情況によつて或は日を異にし、或は繼續して取扱ふことを

よいのであります。いづれにしても、一週の各曜日の時間割を固定しては指導上に都合が悪いのであります。適當に融通し合ふことによつて學習の效果を擧げるやうに努めべきであります。次に参考のため重複する點もありますが授業時間配當表を掲げます。これを見て「自然の観察」として選擇せられた教材の變化、活用を考へられるよいのであります。

月	第一學年		第二學年	
	自然の観察 一	課	自然の観察 三	課
七				
六	五	四	五	四
13、 しゃぼん玉遊び	12、 雨あがり	9、8、7、6、 草花植ゑ	5、4、3、2、1、 春庭記念の木	5、4、3、2、1、 学校の庭
二	一時 一日と	二二 日	二二 日	二二 日
11、10、 水遊び	9、 私たちの研究	8、 田植	5、 むしば 春の野 種まき	4、3、2、1、 春の野 種まき
一一	三	一時 一日と	二二 日	二二 日

然の中に遊ぶ間にいろいろの事物を観察するやうに仕向けることが頗る緊要であります。單に保育室に於て繪本を觀察させたり理科のいろいろの話をなすが如きには禁物であります。

三	三十	一十	十	九	八
3029 草つみ 方角み	252423 冬の葉の羽 鳥の衛生き	2221 笛もみぢ	18、 野菜と果物 自然の観察二	17161514 あさがほ うお月さまり	
28、 春を待つ庭	2726 日冬の天氣 なたと日かけ	20、 秋の種まき とり入れ	19、 秋の種まき 二		
一日	一四	一一一	二時 一日	二日	
25、 三月の野	222120 寒暖計 蟲めがねと鏡	191817 畠木の實ひろひ 手入れ	15、 秋の種まき 四	141312 種とり 校園ちま	
一日	四	一一一	二一日	三一日	二一二

軍神九柱	盧子
其名こそ春あけぼのゝ目にさやか	
若草に老の涙はけがらはし	至高至純
蔭に母あり	
母子草その子の母もうち笑みて	
	(三月八日東京日々新聞)

この初等科「自然の観察」に於ける教材を十分研究し参考として幼稚園保育に於ける「観察」の事項を精選せらるべきが誠に必要であります。幼児をして自然に親しましめ自

教講座 養

萬葉に於て日本の感情を見る (四)

東京女子高等師範學校教授 石井庄司

防人の心情

國土防衛の戰士としての防人の歌については、これまでも度々説き及んできましたが、なほ防人の心情をうかがふのに重要な歌として、今回は左の二首について考へてみたといふ思ひます。

○
霞ふり鹿島の神をいのりつゝすめらみくさにわれば來に
大舍人部千文
之中の阿須波の神に木柴さし吾ばいはばむ歸り來までに
若麻績部諸人

前の歌は、常陸國那賀郡上丁大舍人部千文の作で、防人に立つて行つたさきの事を詠んだものであります。
「霞ふり」は鹿島の枕詞で、霞の降る音がかしましいといふところから鹿島といふ地名に續いたものといはれてゐます。これは常陸國風土記にも、土地のならばしへて「霞零香島」の國といふことがありますから、古くからの言ひ傳であつた

らうと思はれます。

「鹿島の神は、同じく常陸國風土記に出でる鹿島の大神で、今の鹿島神宮のこゝであります。祭神は武甕槌神で、國土平定に大功のあつた神。武甕槌神は、遠く天孫降臨のさき、天の神の仰せ事によりまして、今の香取神官の祭神である經津主神と共に出雲國に行つて、大國主神を讒し、また建御名方命をしたがへ、ついで神武天皇御東遷の途中、大和國にお入りになるに先立ち、御靈剣を降して、神功をお顯はしになりました。今日では武の神様として尊崇いたしてゐるのであります。

此の作者の住んでゐた那賀郡は、今の水戸市の北及び東で、鹿島とはだいぶ隔つて居ります。防人に立つてあたつて、遙かにこの國土の神を拜して、心に期するところがあつたものと思はれます。

「神をいのる」といふ語は、萬葉集中には數ヶ所に見えて居ります。例へば

天地の神をいのりて幸矢ぬき筑紫の島をさして行くわれ
は

天地のいづれの神をいのらばかうつくし母にまた言問は
む

なきは共に防人の作であります。そして「神をいのる」こ
いふことに注意されます。今日では「神にいのる」こ
うに申しますが、萬葉集では、殆どみな「神をいのる」こな
つて居ります。

これは深い意味のあることで、「いのる」こいふのは、眼
に見えないものをはつきりとしたものにするこいふ働きだ
こいはれて居ります。防人に立つに際して、鹿島の大神を
遙かに拜し、心に念じて、鹿島の神をはつきりこ現じ出す
のであります。それはやがて自分の武運長久を念するこ
こもなるのであります。また深く心に期するこころを明ら
かにするこ事であります。

平家物語に傳へられてゐる那須與一の話に與一は、目を
ふさいで南無八幡大菩薩別しては我が國の神明、日光の
權現、宇都の宮、那須の湯泉大明神、願はくばあの扇の真
中射させて賜ばせ給へ……こ心の中に祈念いたします。
これも神をいのるのであります、このこき與一の眼の中
にはあり——こ那須の湯泉大明神があらはれ賜うたものこ
思はれます。私きものが何か心に深く期するこころがあつて
思はれます。

祈念をいたしますとき、產土神の姿がはつきり心眼に映つ
て來るのであります。これが、「神をいのる」であります。
大舎人部千文の歌ではそれがもつと原始的な神祕性を帶び
てあるやうに思はれます。さういふ點で、この歌は日本人
でなければ味はない一心境を示してゐるものと思はれます。

この歌は以上のやうな重大な意義があるばかりでなく、
次に「すめらみくさ」こいふ大事な言葉を用ひてゐるのであ
ります。嘗て支那事變の初め頃、齊藤茂吉博士は「皇軍お
ほいに勝ちぬの句神皇正統記にあり心つつしむ」(寒雲)こ
いふ歌を發表せられました。「皇軍」こいふ言葉が如何に力
強くひびいたこ事でせう。戦陣訓が出されましてから、皇
軍の語は一段とかゞやきを持つてきました。また多くの人々にも親しまれてきました。その皇軍こいふ言葉は、この
防人の歌にある「すめらみくさ」であります。そして、この
言葉は萬葉集ではこの歌にしか用ひてありません。大舎人
部千文こいふ東國の一防人がこのやうな深い自覺の上に立
つて、この語を用ひてゐたものこすれば、まことに驚くべ
きこ事であります。たゞへ深い自覺がなかつたにせよ、こ
にかく「すめらみくさ」こいふ語を用ひてゐるこ事には、い
さゝかも間違はないのであります。

さて、「すめらみくさ」こはざんな意味でせうか。「す

「すめらみくさ」(天皇)「すめらみくに」(皇御國)といふやうに、天皇の御上にかかる物事に冠らせて、尊敬の意を表す詞であります。「みくさ」は「みいくさ」即ち御軍兵といふことで、「すめらみくさ」は天皇の御軍兵といふことであります。東國の片田舎の一防人が、自ら天皇の御親兵であるといふ意識の上に立つてゐるのであります。特に歌では「すめらみくさにわれは來にしを」と歌つて居ります。「すめらみくさに」の「に」は「として」の意味であります。天皇の御親兵として、自分は出てきたのであるといふのであります。「われは來にしを」の「われは」といふのも強い意志を示してゐます。「來にしを」は「來にしよ」と同じに解釋したいと思ひます。「來たのだよ」といふことで、何かの折に忘れようとする自分の志氣を奮起させるのであります。大舎人部千文といふ人の事は、萬葉集に出てゐるだけで、外の歴史の本には全く何も載せられてありません。さういふ身分も低い、ほんの一防人であります、「すめらみくさ」としての強い信念を持つてゐたのであります。今日、大

東亞戦に當つて發揮された勇士の感懐も正にこれであると思ひます。わが國の傳統の尊さがうかゞはれるのであります。萬葉集卷十四の東歌の中に

總國の帳丁といふだけで、よくわかりません。帳丁は、主帳丁ともいひ、書記の役をする壯丁であります。

「阿須波の神」は、人の住む土地を管轄する神といふことであります。むかし宮中では座摩の巫の祭る神として、生井・榮井・津長井・阿須波・斐比支の神々と共に五座といはれてゐた神であります。新年祭の祝詞には

「座摩の御巫の稱辭竟へ奉る皇神たちの前に向さく。生井・榮井・津長井・阿須波・斐比支の御名は白して、稱辭竟へ奉らくは、皇神のしきます下つ磐根に宮柱太知り立て高天原に千木高知りて、皇御孫命の瑞の御舍仕へ奉りて、天御蔭・日御蔭隠り坐して、四方の國を安國平けく知食すが故に……」

こ出て居ります。神話では大年神の御子で、母は天知迦流美豆比賣といふことであります。大阪の官幣中社座摩神社、また輕井縣の縣社足羽神社などはこの神を祭つたものであります。

今のが歌では「庭中の」こありますから、家の庭に祭つてあるものこ思はれます。庭の中の神籬に祭つてある阿須波の神に木柴をさして、「自分はいははう、歸り来るまで」といふのであります。がさて「いはは」こはさういふことでせうか。

誰ぞこの屋の戸おそぶるにふなみにわが背せをありていは
ふこの戸を

といふ歌があります。これはむづかしい歌の一でありま
すが、大體の意味は「誰であるか、この家の戸を搖り動かす
のは、新嘗に我が夫をやつて、自分は一家の中に齋み籠
つてゐる、その戸を搖り動かすのは」^{ひなめ}といふことであります。

「にふなみ」は新嘗にほなめといふことで、これは、常陸國風土記の傳説をみるに、よくわかります。

むかし御祖神尊みおやかみそらが多くの神々の處に巡行せられたとき、
駿河國の富士山にお出でになつたところ、遂に日が暮れた
ので、宿をお頼みになりました。このとき富士の神は「私
は早稲の新嘗をして家内ものいみをしてるますので今晚は
お宿が出来ません」と云つて、お許しになりました。
そこで御祖神尊は恨み泣き悪口していはれるには「お前は
さうして親を泊めないのか。これからはお前の住む山に
は、冬も夏も雪が降り、人も登らず、たゞものを供へる者
もないであらう」といはれました。そして筑波山に登つて、
また宿を乞はれました。この時、筑波の神は、「今夜は新嘗
をいたして居りますが、お泊めいたしませう」といつて、丁
重にもてなされました。そこで御祖神尊は、大層よろこん
でほめて歌をよまれたといふやうなことが出て居ります。

この新嘗に家内ものいみするといふのが萬葉集の「いは

」であると思はれます。「いは」は「齋」の字を書きます。
そこで、庭中の阿須波の神に木柴さしの歌にある「いはふ」
も、さういふ意味で「齋ふ」であると思ひます。防人に立つ
て、再び故郷に歸るまで、心を思ひ込めておかうといふの
であります。やはり、防人の敬虔な心情がよく出でる
と思はれます。

郷里に居るときは、それ／＼家業に従事する一農民であ
り、一商人であるものが、一度召され、「すめらみくさ」
となるときは、全く別の人格を賦與されるやうに思はれます。
それが現在の皇軍の有様ではないかと思ひます。上總
國の一帳丁の歌は、正にかういふ心理を如實に表現したもの
であります。一度防人として出發すれば、「すめらみく
さ」として、心の遊離を起さぬやうに、出發にあたつて、
わが庭の神に仕へ祭るのであります。何ともいへない嚴肅
な感に打たれざるを得ません。

かういふ尊い心情は他に記載されて居りません。わづか
に萬葉集の歌によつて今日私どもが窺ひ得るのであります
て、萬葉集が歌集として、千古に輝く大歌集であると共に、
實に尊い古典であるといふのも、かういふところにあるの
であります。僅かに二首の歌でありますが、汲めども盡き
ぬ深き意義を堪へてゐる名作であります。(つづく)

幼稚園の音樂

東京女子高等師範學校附屬國民學校訓導

小菅和江

元來幼稚園といふものは之をはじめたフレーベルの意見に従ふ。國民學校入學以前の幼兒を自然界と人間界とに導き其本性に適應する活動をなさしめ、身體を強健にし感覺を練習し、心情を誘導鍛磨して神の命に近からしむるといふことにあつた。つまり、家庭と學校との中間の時代に於ける兒童を教育するところで、國民學校入學以前の多くは三歳から六歳迄の幼兒を教育する場所と考へられてゐる。

従つてその教育の仕方は學校的であつてはならない。むしろ家庭的でなければならない。

教師も又レーラーバールでなくてヌルスバール(保姆)でなくてはならない。故に幼稚園教育を Pflege(保育)といふのは斯うした意味からである。そこで扱はれる教材は、フレーベルの言ふ如く、教へるといふよりも遊びの中に於て幼兒を自然界と人間界とに導くのであるから、種々な運動又は音樂を主體としたものになるのである。フレーベルは遊びとして Gift(恩物)の制度を考案した。國民學校に

於けるが如く手工しないで手の遊びの中に物を構成する事を教へる。然かも、自分の創作物を飽く迄も自分で作つたものとして母親に手傳つて貰ひ、それを賞與としてその作つたものを兒童に與へさせてゐる。

元來斯うした理念のもとに出來上つた教育機關であるが故に、音樂の教材を取扱ふ場合にも之を學校的に見做す事は出來ない。即ち國民學校に於ける教科目は一定の進度を以て配列されたものであるが、幼稚園に於ては遊びの背景として又、その遊び自身が立體化され、自分が唯保姆によつて遊ばれてゐる云ふ氣持から更に積極的に友達と有機的に結び合つて遊ぶといふ狀態に迄導入する。而して、その立體的な狀態に迄導入する爲めの音樂であるのであって、立體音樂でなければならぬ。つまり、技術的のものでなく理智と感情の生活そのものを立體化する爲めの立體音樂でなければならない。

幼稚園の音樂は技術として教へる云ふよりも、幼兒をしてその本然の姿にかへらしめる爲めの手段であつた。兒

童が純粹な兒童精神に復歸するには遊戲を以て最上の方法考へられてゐる。シルラーは「人間が遊戲する」の唯、其處に於てのみ全的に人間である」と言つてゐるが、遊戲はなほ一つの不純な要素によつて濁らされてゐる。何故ならば其處に於て競争意識とか、仲間同志に對する一つの牽制感によつて妨げられてゐるからである。ところが音樂になる子供らしい氣分や、表象(色んな考へ)が最も自然に開放され、その Schlüssel(鍵)を通して子供の本質が解き放たれ、音樂的に方向づけられた人間として否、音樂そのものに迄昇揚される様になる。而乍ら、單なる技術としての音樂は子供をして斯くの如き純粹性に迄高める事はない。

何故なれば技術は人間から蒸發した瘤(かねの)であるからである。
註、アメリカの Macdowell は Sonata を書く場合「Sonata の形式が生きた人間の感情を抑へるのでそれは「鐵の寢臺に等しい」と言つた。「鐵の寢臺」は「人間の背の高さに自己(寢臺)をあはせるために生きた人間の足を切る事を要求する」と言つた。即ち、人間を捉縛するものを「かねの瘤」と言つた。

中世時代には各教會のコーラスボーカルを養成する學校がその教會のうしろに建てられてゐたものであるが、その子供達は朝から晩迄この子供の生活から遠い音樂の技術に

よつて苦しめられたのであつた。彼等は齊しく皆音樂の室を嫌つて「音樂室の隣りには地獄がある」と怖れ戰いでいた。斯うした技術としての音樂は幼稚園の爲めには有害にこそなれ、全く意味なきものであつた。

我國で初めて幼稚園を開いたのは西暦一八七六年の事であるが、その他の音樂以外の遊戲や、兒童の取扱方法等においては甚だ見るべきものがあるけれど、特に音樂については殆んど國民學校のそれと大差がないのである。或場合に於ては幼稚園用の歌曲の方が難かしい場合さへ發見する事がある。

二歳から六歳までの子供は音樂に對して敏感なものはない。彼等は他の種々な物事に捉はれて居ても、音樂の雰囲氣の中に置かれる時は直ぐに自由になり、眞の子供らしいを取り戻してしまふものである。幼稚園に於ける音樂は

- (1) なるべく單純な音樂である事
- (2) Spiel(遊び)の様に朗かで陽氣である事
- (3) 妙な教訓的な歌詞をもつ事はさける事
- (4) 自然の花や、蟲や、空や、風等に注意を向ける爲めに従つした自然物を取扱つた歌詞で、自然の中に發見出来る音聲を模倣した音樂、例へば、ブンブンブンブンミ言ふ蜂の歌、カツボ、カツボ、カツボ、カツボといふ馬のリズム、風のヒュウ、ヒュウといふ音等を取り入れたもの

がよい。

(5) それも順次的に平易なものから更に進んだものへか、極めて少しづゝ變化してゆく事もよいのであつて、必ずしも技巧的の進歩は幼稚園では要求しないものゝ云つてよい。

斯様にして幼稚園の音樂は *Spiel* としての音樂である故に、なるべく目で見乍ら、足で踏み乍ら、全身を搖り動かし乍ら唱歌する様式の音樂を最上とする。目で見るとは例へば、「花」の歌をうたふならば、花を前に見せ乍らうたふ事であり、手を叩き、體をゆすぶり乍らうたふ事をいふのである。

即ち、リズム音樂、リズム的教育、運動、言葉、音樂、繪畫を一つに迄綜合せるものを與へて、彼等の人格的な發達、全體的人格、有機的統合に迄齎さなければ幼稚園音樂の窮極目的は達せられないと思ふ。

紙數の都合で、國民學校令實施に伴ふ幼稚園音樂の具體案に迄申述べられなかつた事を遺憾に思ふが、何れ又、紙を改めて發表したいと思つてゐる。

以上

軍 神 遷子八郎

そのこゝろきくに涙のあふれきてしばしいひ
づぐ言の葉もなし
生還はいまだ難きにあらざりきあはれなるか
や益良雄のみち
敵艦脅りしあとに浮びいで、今生の月と仰
ぎたりけむ
今生も後生もおなじうつそみのいのちはのち
も大君のため
猛勇のその人にして親おもふこゝろあつしこ
きくに哭かる、

(三月八日東京日々所載)

五月の保育

生活訓練

倉橋惣三

入園以來一ヶ月、だいぶ幼稚園の生活になれて來た。今まで主として新らしい生活になれさせる爲に、無理のないやうにとの心づかひが多かつた。その爲、訓練といふよりも、多少幼児の心を迎へるところもあつた。もうそろそろ訓練の方針によつて指導してゆくがよからう。それに、一ヶ月たつて、幼児の方でも、そろく氣らくに、銘々の地金を出して來るかも知れない。此の一ヶ月注意し來つた各自の個性がふたを開けて來るかも知れない。

一體、訓練は、個性に基いて行はれてゆかなければならぬものである。それがないと、見當違ひが行はれるかも知れない。この點で此の五月は大切な、訓練の出發期である。

地金の一つとして、わがまゝが出る。勿論そのこと自身に大して惡性がある譯ではないが、何ごとも自分先位に、人をおしのけて、勝手をふるまなうとする出鼻は、初めから然るべき抑へることは必要である。

ところで、斯ういふことは、幼児一人々々のことではなく、一般のことであり、豫め分つてゐることであるから、出鼻といつても、出た後から抑へるのでなく、初めから、それの出ないやうに用意して置くべきである。そこが生活訓練たるところである。

生活訓練とは、生活を訓練する、生活の中で訓練する、といふ二つの意味の他に、生活によつて訓練するといふ意味をもつ。生活によつてとは、生活の中でといふことゝは別に、生活の形式を利用してといふことが主である。「保育案の實際」の五月始めのところに、「大勢同時に場合には腹に並んで先を争はめこと」とあるが、此の意味は、大勢同時になつた時の生活の仕方を訓練するだけない。幼稚園では大勢同時に事をするのが常であり、從つて、その生活形式によつてこそ、強いて抑へずとも此の訓練が出来る譯なのである。勿論、それでも尙、先きを争ふわがまゝが出来ることも少なくなるからう。その時は抑へるといつた必要も起るであらう。しかし、皆同時に事をすることとの樂しさや、目的や、法則やが豫め巧妙に傳へられたら、その生活形式そのものが、個人生活形式を先づ抑へる筈である。

同じ月に「仕事の時紙の切削を床に捨てぬこと」といふのがある。これも、豫め、捨てないやうに、生活形式を誘致して置くことが必要である。その切り屑を入れる籠なり箱なりが用意され、用意されても便利のところに置かれず、といつたことでは無

理であらう。勿論之れ亦、その用意があつたとて、必ずそれに入れることは限らず、家庭での仕來りで、散亂させることも多からうから、それは個人指導によるべきであるが、先づ、用意ある生活なしに訓練することは出来ない。

次に、此の月から「軽いお手傳ひ」といふ、極めて味のある訓練が始まる。これは訓練の多くが消極的項目なのに比して、積極的項目ともいふべきである。

幼稚園は幼兒の社會的生活を一つの特色としてゐることは言ふまでもない。ところで、その社會的訓練なるものは、いろ／＼の要素をもつてゐるが、生活が社會的に整理せられることを一般の通念としてゐる。之れも大切なことであるは勿論であるが、社會的といふことは、社會的整理だけでは決してない。それよりも、社會的、社會的に生活することの內部的意義があることも忘れてはならない。「お手傳ひ」もその一つである。

お手傳ひは、社會生活の中で、その生活の一部に参加してゆく初めてである。社會的生活の整理に服従してゆくだけでなく、進んで參加してゆくのである。お手傳ひであるから、まだ、獨立した一任務の擔任ではない。が然し、お手傳ひには、いでもしなくていいことに、自ら進んでゆくといふ、妙味が動いてゐる。義務とか責務とかいふことよりも其の社會的意義は軽いが、それだけに自ら進んで參加してゆくといふ個人的、社會心の訓練としては意義が深い。殊に愉快なことは（訓練は苦しいこととのやうにのみ思はれてゐるのは一般としても誤りであるが）お手傳ひといふこと

は、幼兒にとって、元來が可憐な誇りでもあり、無邪氣な喜びでもあることである。

「軽いお手傳ひ」の一つとして、お辨當の時の手傳ひが挙げられる。之れは、子どもの幼稚園生活中、最も現實味の多い場合であつて、お手傳ひする方も、お手傳ひによつて受くる方も、ほんとうに心持ちの籠ることである。どうも訓練が、訓練のための訓練になり易かつたり、従つて形式のことになり勝ちなのは、往々免れ難いことであるが、お辨當といった場合、それは充分に此の弊から免れ得るであらう。それに、もう一つの長點としては、お茶碗配りにしても、お盆ならべにしても、多少年長になつてからのお湯つきにしても、それは、どこまでも直接實際の結果の伴ふことで、所謂實際訓練になる。モンテッソーリ方法の中などから盛に引用された實際訓練の教育效果が含まれるのである。

お手傳ひの機會としてのみでなく、お辨當の食べ方の訓練が此の月から始められてゐる。之れは、家庭生活の繼續で、家庭で既によく訓練せられてゐる子には、極くなだらかに行はれてゆくが、實際としては、多くが仲々手のかゝることである。家庭での生活訓練の不充分を、つくづくと思はせられたりすることが稀でない。

さて、食事訓練は、單なる行儀の他に衛生訓練として重要な事であるのは言を俟たない。「よく噉むこと」といふ如きその一つである。これは是非しつかり訓練したい。それには、咀嚼運動の訓

練が第一であるが、食事中お湯の呑み方も注意を要するし、殊に、

御飯とおかづとの順々な喰べ方も必要な注意であらう。一體に斯うした訓練は、我國の近來ではおとなにも甚しく缺けてゐる。

食事中の話あひに就ては、いろいろの説があり、絶対にだまつてゐるのがいゝとされることがさへあるが、それも會食としてさうであらうか。寧ろ適當に話あふのもいゝと思ふが、それ故にこそ訓練がいるのである。「食物が口にある間は話をせぬ」といふのも、其の一つである。之れさへ守られゝば、大體樂しく話あひつゝ食事が出来る筈である。

「こほさぬ」といふのは、初めの中は多少むづかしい要求かも知れないが、お辦當の時こそは可なり強い訓練を要求していゝであらう。それは、食事といふ、本能さへ加はつてゐる具體的生活、楽しい生活であるから、こういふ時にこそ、形式を形式として要求してゆく場合の如き無理は滅多に起らないからである。それに我國の家庭生活では、食事の訓練が甚だしつかり行はれてゐない。ほとんどうち粗野といつていゝ位である。幼稚園ではしつかり、小さい紳士淑女として食事させたい。他の時間、遊んでる時、仕事をしてゐる時は、そんなに紳士淑女主義を重んじやうとは思はない。時には相當の野ばん性も許されいゝことかとさへ思ふ。だからこそ食事の時は、しつかり作法的であつてほしい。先づ手を洗ひ、静に座し、手を膝に置き、暫らくは沈黙もし、「兵隊さん有り難うござります」でも、「ござります」でもいゝから食前の感謝

を一齊に唱へて、静かにしかし樂しく、品位よく食事する。お辦當の時間だけは決して粗野下品野ばんであつてはならない。決し

てならない。

自由遊戲

上遠文子

空は青天井。爽やかな風が子供達の裾をゆるがす五月となりました。年少組の子供達も大分幼稚園の生活に馴れて來、入りまじつてお庭の中を駆けまわつてゐます。何と云つても此自然の中で、日光を浴びつゝ戸外あそびの日に／＼盛になる時でありませう。お家の中でくすぶつてゐる子供達も、お日様がにこ／＼と、待つてゐて下さる戸外へ誘ひ出しませう。「一杯に日光を浴びて好い空氣を吸つて、すく／＼伸びる子供達の體の中には健康の血が駆け廻る事でせう。

さくら／＼ 昔から、童歌や琴歌として、日本特有のこの歌も、今でも尚、子供達の間で歌はれてゐる。二人で綺麗な櫻のトンネルを作りませう。その二人は先に、地獄、極楽をきめ、又何か好きなもの、りんごでも梨でも好い、きめておく。

さくら／＼

やよひの空をば

みわたす かぎり

いざや／＼ もろとも

うめには鷺、ぼうほけきよ。

この歌を歌ひつゝ他の人はこのトンネルをぐる／＼まはりつゝくる。「ぼうほけきよ」でのトンネルをおろし、その時トンネ

ルをくじてゐた人をつかまへて、りんごと栗などつちが好き
好きな方のトンネルの人の後についてまつてゐる。次々とさうし
て皆、どちらかにしてしまふと、地獄の人は、トンネルの両手
つないだ中に入れてゆする。

地獄、極楽、えんまさんはこわ
もう一つおまけに針の山にと

もう一つおまけに針の山にこんでゆけば、極樂の人は両手で手の車をつくりそこに乗じ、極樂、極樂、えんまさんよなさし、

三一卷之二

子供達の歌つてゐるのを引いてただけでそれ／＼の方法で違つてしておられる所もございませう。年長組とまつてするのも又面白い事です。

駄つこ リレー遊び 小さい子供達から大人までに行はれる、そして誰がしても其處に面白味のある遊びである。幼兒達にも實におもしろく又身心發達にも大いに好い遊びとして、私達も種々さとその指導法を工夫せねばなりません。

年少組としては最初のうちは、七八人づゝ、お庭の木をまはつたり、何かものにさわつて歸つて来る程度で相當面白く遊べる。極く最初は先生も共に走り、勵ましつゝ進めてゆくのが好ましいと思ひます。それにも大分なれで来ると、唯走るもの面白くない大きい人達のしてゐる仲間入りをしたりしてリレーが始まると。二手にわけて、バトンがあればよいがないときは手に觸るとかハンケチとかを用ひて次の人々に變る。「〇〇ちゃんしつかり」と応援も賛美かに仲々面白いものであります。何れにしても、途中

で負けることやめたり、人をおしのけて走つたり、その他するい事をしない様、即ち運動精神を申しませうが、その時々に、注意しなくてはなりません。

なわとび これも全身の運動として、樂しまれてゐる遊びひとつ。一人でとぶ、二人で。又二人で持ちその中をとぶ。おまわり、お波、一段二段、等と云つて種々面白く遊ぶ。繩を二重にして二人で高くもち川に落としつこといつてその間を落ちぬ様通ればよいとか、又次第に細い筋を繩につがぬ様通る等面白いものが澤山ある。

猫と風遊び 猫と鼠をきめ、猫は圓の外、鼠は圓の中にある。

圓の人は、

猫の子、子猫名はおすゞ

おすゞやおすゞ 静かに行つて鼠取れ

と歌つて、歌ひ終ると猫は鼠を追ひかける。圓の人は鼠がうまく逃げられる様ふさいだり通してやつたりしてゐる。つかまると次の人と變る。時々圓の人が猫を通したりするとそれ大變、鼠は大あわてです。

これは二三の遊びに過ぎませんが、お砂場に、ぶらんこに、すべり臺と、子供達は駆けまはり、偉大なる自然の中に、此好き季節を樂しみたいものであります。

遊 戲

古澤 靜子

五月。綠したゝる青葉若葉に初夏の陽光がそゝがれ、そよ風に藤の花がゆらぐ。菖蒲の花も開きました。勝利の日本をよろこび、輝かしい前途を持つ男の子を祝つて、青空高く鯉のぼりが泳いで居ります。

竈を開きませう。

若葉の香りは、微風と共に、子供達のほゝのあたりに漂ひます。駆けた後、歌つた後、しつとりと汗ばんだ後の心地よさを感じてゐるのはこの頃でせう。スキップの愉快を味ひ、音と共に限られた時間内に限られた運動をする事の合理的な面白さを、或はお

互ひに連手して他と同じく前進後退することの難しさを體得はじめのものこの頃であります。

前月は、團體訓練への第一歩として、極く基礎的動作より成る、二三の遊戯を教しました。五月と申しましても、まだ日も浅い一月後でありまして、前月に依つてすつかり基礎が、出来る筈のものでも御座いませんので、この月も前月の延長と考へまして、是等の基本的な動きの上に、更に枝葉を伸ばしてゆき度いと思ひます。即ち部分的な動作より全身的なものへ、直線より曲線へ、又個々の動作に就しましても、單的な表現より、稍く複雑な表現のものへと進み度いと思ひます。然し勿論、前月のものを基といたしました上に、展開するものでありますから、四月の繋りとして、漸次的進行をはかりたいと思ひます。

あなたのまね(日本幼稚園協会發行「遊戯の歌と曲」所載)

全生、圓形を作り、指導者を一人圓内に入れ、その指導者の動作表現を全生が眞似するのです。

「五小節—八小節まで」そのままスキップで繼續します。

「一小節—四小節まで」全生、圓の左又は右をむき曲に合はせて歩きます。圓内の指導者は皆と反対の方向に歩きます。

「九小節—八小節まで」そのままスキップで繼續します。

はじめは、先生に指導者となつて圓内に入つていただきませう。之は瞬間的にその場で行ふ表現でありますから、簡単なものを行つたと同様の表現を行ひます。

でよいのです。例へば、

両手を擧げて萬歳。丸くしてお月様。指を伸ばして舉手の敬禮。掌を下に向け、両手を上に擧げて、びよんと一つ跳べば兎さん。同様に肘を曲げて跳べば、ポチ。と言ふ工合に、様々な面白い表現が出来るものです。

ものまね(日本幼稚園協会発行「遊戯の歌と曲所載)

「あなたのまね」と同様、全生圓形を作り、指導者を一人圓内に入れ、その指導者の動作をまね、或は指導者の命じる動作を全生が行ふもので、「あなたのまね」の瞬間の表現に對し、繼續的に動作を行ふものであります。

「一小節—九小節まで」全生圓の左又は右を向いて歩きます。圓内の指導者は全生と反対の方向に。(指導者が動作をしないで、たゞ命令をする際は、歩かないで、立つても結構です)

「十小節—十四小節まで」圓内の指導者が好きな動作を行ひ、全生その通りにいたします。馴れた後は、指導者は、口で動作の指名をするのみにいたします。

こゝでいたしますのも、最初は、上肢下肢のみで行ふ簡単なものより次第に全身的な複雑なものへ變化させることに致しませう。例へば、右手で擧手の敬禮を行ひつつ、特に步調をとつて歩くとか、兎になつた場合は、そのまま兩足を揃へて圓にそつて跳ぶ。小鳥になつて兩手を横に振る、同様にして跳ぶ。

しゃがんで両手を前につき、てんとう蟲になつて歩くことも出来ます。或は優しい風がよそ／＼と…足踏みをしながら両手を上に擧げて左右に振ります。一、二、一、二のかけ聲に合せて、

お舟漕ぎの練習も出来ませう。

この様に「あなたのまね」で致しましたその場での動作を、「ものまね」では連續的にするもので、何れの際にも致しあることは、自然界の中より、又可愛らしい動物の運動を、或は人工的な物真似等、實に様々な表現動作が出来、それに伴つて多くの想像的興味を呼び起すものであります。どんな小さな動作も、單に臂の上げ下ろしにとどまらず、例へば萬歳にいたしましても、天を突き抜く程、高く元氣よく舉手する事に依り、必然的に胸廓の擴張、姿勢の端正が、伴はざるを得ないのでありますし、兎になつて跳ぶ場合、両手をよく擧げてゐる事は相當に努力を要する事でありますと共に、跳躍力を養ふことになります。この様に、その興味を通して、個々の動作に含まれる何等かの價値を見出し度いと思ひます。

尙、「あなたのまね」や「ものまね」で行ふ運動は他の一連の遊戯の際、困難と思はれる様々の動作の練習として取扱ふ事も出来ませう。

てんとう蟲(日本幼稚園協会発行「最新作曲幼稚園唱歌集」所載)

圓形でも自由な隊形でもよろしく御座います。圓形の場合は、圓周にそつて歩きます。一節より三節まで同じ動作であります。「てんとう蟲は」皆さん可愛らしい小さいてんとう蟲になつて、うづくまりませう。

「てんとう蟲は」四つんばひになつて一時間に一步づゝ、前方に歩きます。

「赤い服」同様にして「そ／＼」と成るべく早く前進します。

「黒い鉤が點々々」四つんばひになつたまゝ、二呼間に一回づゝ飛んで進みます。

てんとう蟲ですから、體を丸くしたまゝ、従つて膝を曲げたまゝで飛んでみませう。あまり元氣よくはねると、ボチになりそうです。

いも蟲(昭和十六年十月「幼兒教育」参照)

時計屋の時計(昭和十六年十二月「幼兒の教育」参照)

ボートレース(日本幼稚園協会發行「遊戲の歌と曲」所載)

ボート競争の始まる時節になりました。約十人一組として、一列縱隊に並び、前の者に、兩足がごく位の間隔を保つて、前方に兩足を出して腰を下します。先頭の一人は、リーダーとして反対に皆の方を向いて坐ります。

櫂を持ち、曲に合せて二呼間に一回づゝ體を前方に曲げて、兩臂を前方に伸ばし次の二呼間に、兩臂を體前に引寄せながら、上體を起します。つまり、四呼間に一度オールを漕ぐわけです。次の四呼間では、一度漕いだ後の兩手を上に擧げて萬歳を致します。最後までこの動作を繰返します。

先頭に坐つてゐるリーダーは全生と同様に舟を漕ぎますが、全生が萬歳をする時、口に両手をあてゝ、元氣をつける爲の言葉を發します。「しつかり!!」と言ふやうに。

その前に、審判官を一人選び、全列の前に立たせて「用意」「始め」の合囃をさせ、曲が終つた時に、どの舟が勝ちか、審判をしていたゞきませう。

各列共、それゝゝのボート乗組員を編制するのであります。

各員共、櫂をしつかり握り、出来るだけ上體を曲げて、他の人々に合せ、十人が、よく揃つて漕ぐやう。他の方に連れたり、反対の方向に漕ぎ出したりしない様、注意いたしませう。審判官の審判には絶體服従。但し審判官は公平な審判をしなければなりません。

たんぼゝ(日本幼稚園協会發行「幼稚園唱歌選集」所載)

圓形を作り、圓心に近く集つて居ります。「たんぼゝが咲いた」

稍く上體を曲げて前かゞみになり、拍手をしながら四歩後退して大圓に開きます。

足もとに綺麗なたんぽゝが咲いて居ります。「たんぼゝの花は黄色なお花」両手を擧げて両掌の指を開いて合せ、額前で花の形を保ちつゝ各自の廻りを一廻り。大きなお花です、御自分のお花を見て御覽なさい。

「たんぼゝのわたげ」両掌を並べ、額の前に保つて、稍く前かゞみになり、両掌の上にのせたわたげを、吹く様にして駆足で圓心に入ります。わたげは御存知でせうね、綿の様に白くて、ふわふわ飛び出すのを。お顔を近づけ、そつと吹いて遠くへ飛ばしませう。

「風が吹くぞ」両手を上に擧げ左右に振ります。高くあげて御覽なさい。優しい風です。

「ふわ／＼」両手を下しながら、駆足で圓心に入り、前にかがんで両手を牀につけて。

わたげを追つて飛ばすのは、面白いものですね。夢中で断け出しち度くなるのですが、あまり勇しく駆けては、柔かいわたげは踏

みつぶされてしまひますから、優しい風になつて、そーっと吹いて下さい。

動的な動きを、静的な中に表現するのは、大きな力と努力を要します。

鯉のぼり(日本幼稚園協会発行「幼稚園唱歌選集」所載)

「屋根より高い鯉のぼり」圓形になつて連手し、右傾上を眺めながら左に廻ります。

「大きなま」ひはお父様同様、反対に廻ります。

「小さ」ひは子供達両手をお互ひに肩にかけ、圓心に向つて六呼間進み、「子供達」の時に頭を左右に振ります。

「面白そつに泳いでる」掌を交互にかへして拍手しながら、歩いて後退します。高く上つた鯉のぼりを見上げながら。

エンソク(日本教育音楽協会発行「繪本唱歌春のまき」所載)

うらゝかな日に、先生やお友達と御一緒に皆さんの足は、郊外へ、山や丘へ、動物園へと向けられませうが、お遊戯室でもエン

ソクが出来るのです。では仲よく手を繋ぎませう。

「お日様に」へ日本晴圓形になり連手して左の方に歩きます。

「今日は楽しい遠足よ」両手を交叉して胸にとり、後にホップを四回しながら、各自の廻りを一廻りいたします。

「お手々つないで歩きませう」連手して右へ歩きます。

「唱歌を歌つて歩きませう」「今日は楽しい遠足よ」と同じ動作。

「丘に着いたらお弁當食べて」掌を交互にかわして拍手しながら圓心に進み、「食べて」の時、その場にしゃがみます。

「お花をつんで遊びませう」左手を丸く曲げて籠を作り、右手で二呼間に一度づゝ花をつんで籠の中に入れます。

ホップと言ふ動作が始めて出て参りました。こゝでは、左右の足を交互に後に擧げて跳ぶのですが、最初は踏み出す足にアクセントをつけ、先生の手拍子或は特にアクセントをつけた樂器に依り、ゆづくり跳ぶ事から始めませう。後足は成るべく高く上つた方がよいわけですが、お膝が曲つても可愛いものでせう。

最後は圓心に入つて居りますから「お花をつんで遊びませう」の部分を後奏にして元の位置に戻ることにいたします。

大體この様な遊戯に依り、次第に多種の動きへと展開して参りますが、すべての生活に於きまして團體的行動の強化が必要とされて居ります今日この頃、遊戯室に於きます遊戯の際の團體的精神性は、それ等異つた生活部面に於ける團體性への礎となるものと思ひます。

それは勿論、個を無視して全體をたてると言ふものではなく、個そのものの價値は充分尊重して伸展させねばならないものでありませう。従つて具體的な遊戯の際にも、同じ動作でありながら、各々、客觀的主觀的に表現態様は異なつて参りませう。が、何れも個性を生かした全體であり、その立場より、團體的取扱ひをしたいと考へるので御座います。

観察

清水光子

鯉幟と武者人形

入園して一ヶ月になる此頃はやうやく幼稚園に慣れて、子ども達の氣持も五月晴のやうに爽やかである。五月節供は始めての楽しい行事として印象づけられるものであらう。今日から幼稚園の屋根より高く鯉幟があげられる。あげられたといふ日、みんなに知られて話合ふ。わたしの家でも、僕の家でも、うちのはまごひが一匹ひごひが二匹よとかうちはこうだが幼稚園のはかう、といふやうな話合ひのうちにひごひ、まごひの名前や矢車とか吹流しこいふことを話す、又鯉のやうなお魚の數へ方も知らせる。

そして翌日のころに寫生をする。その時どうがするとうつかりと風の方向に拘らず勝手な方に観念的にかく子どもをみうけるがこれはよく氣をつけやり、見たまゝをかくやうにすると一しょにみんなにも風がどちらの方から吹いてゐるかといふことを注意させ度いものである。

五日に近い日武者人形を飾る。そしてみんなで見る。これは静に話し合ひ乍ら、鎧々の家にあるのと思ひ比べさせ乍らその名や様子やどんなものであるかなどへば鐘馗さまのいはれななどを簡単に話してきかせ、斯うして日本では昔から強く立派な日本人によるやうにして來たといふことを知らせ度い。

竹の子

幼稚園の庭にゐる蟲

自然觀察の材料が他のいつの頃にも増して豊かな五月であるがその中でもお庭にゐる蟲は子ども達の爲に澤山のよいものを提供してくれる。これ等の蟲はそれをどうみせるといふやうに一々具体的に説明することはどうかと思ふ、といふのは實に機會捕捉的でなければならないし發展的でなければならないし、臨機應變でなければならぬからである。しかもその取扱ひがよくされるとどんなに子どもの觀る心と目を豐にし伸し、喜ばせることとかわらない。私達保姆としては「まあ氣味のわるい」と顔をそむけず、けれども危険に注意深く、一しょに見るやうにつとめ度い。

こゝに氣をつけねばならないことはともすれば理科的に翅が何枚、足が何本、といふことではなくて動いてゐるまゝを、蟻なら葉の所で働いてゐるまゝを不思議を不思議として、説明をむやみにしたり教へたりしないことである。

お玉じやくし

まつ黒な小さい、可愛い、愛嬌者のお玉じやくし、幼稚園の池

に自然にゐるならば卵の時からずっと注意してみるによい、

が戀恋(この言葉を教へるのでではない)をよくみせる爲には水盤な

り水がめなりに四五匹をとつて保育室で飼ふとよい。が小さい入

物に澤山飼ふと失敗する。えら呼吸のうちは水中の酸素がなくな

ると死んでしまふから。

保育室で飼育するこれが最初のものかも知れないが始めはみんながめづらしがつてさつとそばへたかつてしまひ、結局何もみないでしまふといふことがあるから始めには少しの子どもを順につれて来てそばでゆっくりみるとことにする。その後は毎日一度は餌をやる時や何かの時にみんなの注意をむけ、今日はさうしてゐるといふことを氣をつけるやうにする。蛙に近くなつたら水盤の中

に丘をつくつてやり、知らない中にはね出してしまふことのないやうに覆をして置くことを忘れないやうに。

軍艦

大東亜戦争が始つてからは一そう軍艦に對してみんなが注意をむけるやうになつた。が海軍記念日に當つて特に信用のある繪、寫眞を保育室にはつて、種々の軍艦について話合ひ、同時に感謝の氣持をもつて兵隊さんの軍艦生活について話してきかせるやうにしたい。

談 話

志 村 貞 子

入園以來一箇月、先生にもお友達にも親しみ、幼稚園の生活そのものを楽しんである毎日です。子供達はお話をするのも聞くのも樂しくてたまらないことでせう。叔てそのお話ですが、今月は「鯉のぼりと雀」「赤ん坊爺さん」「金出る銀出る」「猿の人まね」「三四の子豚」「ざんぐり小坊主」「三四の熊」——改訂版系統的保育案の實際の中幼稚園談話集所収のもの——となつて居ります。みんなそれども子供達の樂しく嬉しい心を更に喜ばせるやうな可愛い、或は面白いお話だと思ひます。

子供達の心はお話を待つてゐます。素直に、樂しく受け入れるばかりになつてゐます。さうしてお話を用意されてあります。かうなるとあとは話す人次第といふことになりますが、人それどもに持味があるのですからそれをよい方に充分發揮さればよいわけです。要するにこの用意されてある雰圍気に素直に入り得る人であり、更にこれを引立てゝゆき得る人であればよいわけです。話し方の巧拙等よりも何よりもこの「人」が根本だと思います。お話をそのものについては特に申上げることもないと思ひますが、二・三氣付いた點を記してみませう。

「鯉のぼりと雀」これは鯉のぼりのおながの中に入つて遊んでゐた雀が、鯉のぼりとお話をして仲好しになるといふ可愛い、お話をです。

幼稚園の空に悠々と泳ぐ鯉のぼりを見上げながら「あの鯉さんのお話ですよ」と始めたら子供達はどんなに喜んで聞くことでしょう。おの大きな口から雀が入つて遊んだといふ着想がこのお話を可愛いく活かしてゐます。話し方に特別の技巧は要りませんが、鯉と雀との会話は会話らしく聲の調子をかへることが必要でせう。保母は鯉のぼりに限らず、子供達の身近なもの、親しみをもつものから取材して、子供達の親愛の心を可愛い、お話をの中に表現してやりたいものだと思ひます。

「赤ノ坊爺さん」は草刈に出たお婆さんが山で若返りの水を飲んで娘になつて戻つてきただのでお爺さんもその水を飲みに出かけたがなかなか歸つて来ない。お婆さんが心配してさがしに行つてみたところが、お爺さんは水をのみすぎて赤ノ坊になつてしまつてゐたといふお話です。お婆さんが歸つて來た時のお爺さんの驚き、お婆さんの話、お爺さんが出かけたこと等、筋道はつきり且、緩急よろしきを得た調子で話すことです。子供たちはぐんぐんいてきて終の頂點で大喜びを致します。

「三匹の子豚」と「どんぐり小坊主」は外國童話の代表的なもの一つでせう。いかにも童話らしい童話だと思ひます。子供達に豊かな心の世界を與へる爲には、古今東西あらゆるよいお話を求めて寄れるだけの廣い心の保母でありたいものです。

「三匹の熊」これは繰返しの面白さを主とするお話です。大きなお父さん熊、中位のお母さん熊、小さな子供の熊、この三四の熊の家へ、留守に花子さんがやつてきてそれ／＼大、中、小の道具をつかつたり、御馳走をたべたりします。その後へ歸つて來た

熊の親子が、それ／＼大、中、小の聲を出して驚くところが繰返してあるのです。「おや、誰か、私の椅子に腰かけた！」お父さんの熊が大きな大い聲で驚いて、となりました。「おや、私も私にも！」お母さんの熊が中位の聲で驚いて言ひました。「おや、私のにも。誰でせう、こんなにこわしてしまつて！」子供の熊が小さい聲でびっくりして言ひました。とありますやうに、大、中、小の聲をその感じが出るやうに使つて話すことが大切だと思ひます。聲の大、小だけで面白さがすつと違つて來ますから。

この他、既成談話ではないのですが、今月にはじめて「若葉の話」「春から夏へ」といふ題で觀察話ともいふべきものがとり上げられて居ります。先生がお話を創作せられるのも結構ですし、また語り合ひの形にして、子供達と一緒に、子供たちのみた或は感じた季節の移りかはりを話しあふことも大いにやつていただきたいと思ひます。子供は勿論先生がらいろ／＼補つていただき、教へていただくのですが、先生も亦、子供の觀方、感じ方に幾多教へられる點があると思ひます。

手 技

及 川 ふ み

新入幼児たちも、入園後二三週間も経つとよほど幼稚園の生活にもなれて来る。ブランコ、スベリ臺、砂場と自由遊びにも自分からの興味が出て来て、ほんとに幼稚園が愉快そうになつて来る。そればかりでなく年長組の人たちのするいろいろ／＼のお仕事

(所謂保育の諸事項)にも自ら進んで入らんとする興味も湧いてくる様である。もつともお遊戯や、お話を外部から受けるものとして入園の當初から始められてゐるものであるが、幼児自らはたらきかけるところの自由畫やお仕事の類の手技は、幼児たちが幼稚園の生活にすっかりなれて来て始めてその芽をのばすものである。

この仕事に対する幼児たちの興味の芽は實に大切なものであつて、これを健全に成長させる事が手技の使命であるといふべきであらう。

前號に手技の導き方について數項に亘つて様々述べたのであるが、幼児たちの興味といふ事が手技の指導の最も重要な點であるといふ事はいふまでもない事である。

新入幼児の手技の材料の選擇については一層吟味して、出来るだけ幼児たちの興味のある材料を選ばなくてはならないのである。幼児たちの興味を惹く材料とはどんなものであらうか。作るに容易である事は興味をそなへない一つの大きな要件である。次に作られたものが自分の所有物となりおもちゃとなる事もある一層興味を強くするものである。

こゝに最初の一ヶ月の手技の材料について考へて見る事にする。

先づ第一に、平面的な製作物として、帖面なり、或は畫用紙などに貼る材料のものとして

自由切り紙、コッキ、テフテフ

次に、立體的に出来上つたものが、直接幼児たちのおもちゃになるものとしての材料

首飾り、輪つなぎ、コマ

などが考へられる。

次にその各々の材料について説明をつゞけて見る。

一、自由切り紙

十センチ四方位の大きさの模造紙二枚づゝを各幼児に任意に切らせて見る。鉄を始めて使つて見せるものもあつて何を切るかあてもなく鉄をたゞ動かしてみて、まとまつた形の切れないのであるし、又形のとゝのつたものを切る事の出来るものもある。いつれも幼児の説明を求めて帖面にはりつけ説明を書きそへておく。

一、コッキ

黄色の模造紙に直徑二センチの丸、赤の模造紙に直徑六センチの丸を豫め書いておいて、これを各自にその線をたゞつて切りぬかせる。黄色の丸は國旗の頭としてはりつけ次に竿をかゝせ旗の輪廓を畫かせて赤い丸をはらせる。これは黄色い丸、赤い丸を切らせるのが仕事であるから帖面にはるのは保母がしてよい。

一、テフテフ

黄色の模造紙に三角を畫かせて、これを二つづゝ組み合せて蝶々にする。蝶のからだ、觸角など簡単にかけるものにはかかる。畫けないものには保母が手傳ふ事にする。二四でも三四で最も興味のあるだけ切らせてみる。國旗と同様にはれるものには貼らせてよいのであるがこの仕事の主眼とするところは切らせるところにあるのであるから保母がはつてやつて蝶の羽も書き觸

角も書いて手傳つてよいわけである。蝶の外に草や、花の書けるものは自由に書かせる。

一、首飾り

模造紙の櫻、蝶の打抜きを使用してもよい。古端書を赤、緑など任意の色にぬりつぶし、これを二センチ四方に細く切つて中心に穴をあけて用意しておく。麥ワラは二センチ位の長さに切つておく。古水引一本。麥ワラと紙とを交互に水引に通してゆく。終りを輪に結ぶ。

この時四角に切つたものを四すみを中心に向つておりさら半分外へ折りかへして花の形にするといふがこれは年長組でないとむづかしい。花だけ年長組での仕事としてもらへば誠に好都合である。又麥ワラは色のついたものでなくてよいのであるから春の麦の取り入れの時に心がけて集めておくとよい。これを切るときは温らせておかないと破損するからこの點も注意しなければならない。

一、輪つなぎ

古端書を材料として作る

古端書一枚を一枚を赤、一枚を黄に長き方の上一センチのりしろ残して全面ぬりつぶす。幼児の仕事として一時に二枚とも塗つてもよいし、又一枚づゝ別々の時の材料としてもよい。次にはがきを縦に長く二つ折りし、さらに二つ折にし又二つ折にする。つまり細長く八本出来る様に折る。これも幼児に出来ればさせるとし、むづかしい様であれば保姆の方で折目をつけておく。折り目の通り切らせる。八本切る事だけを一度の仕事としてよい。

八本づゝに二枚のはがきを切つて十六本づくる。次に一センチの糊代の部分に糊をつけて赤の輪と黄い輪を次々に輪をつなぎながら交互にはつてゆく。はがきの輪つなぎも幼児たちの首飾りにもなれば、お部屋の飾りにもなる。

はがきを材料とした輪つなぎは模造紙などで作つたものよりも紙の質が丈夫な爲に輪がしつかりしてよい。

一、コマ

材料は古はがき ヒゴ或は妻揚子

古はがきのコマも新入幼児の手技の材料としてよい。

そのコマの作り方もいろいろに工夫されてよいと思ふのであるが、コマは丸の平均がそれでうまく廻るのであるから圓だけは始めて正確に書がいておく。二枚のはがきで二つのコマが取れる様に直径七センチ丸二つ、二センチ丸二つ書く事にする。大きい丸に自由書を描くか、或は模造紙を細く切つて模様として貼りつけらかする。大小四つの丸を丁寧に切りぬかせる。丸の小さい分はコマの中心を丈夫にするために貼るのであるが大きい丸と配合よく色をぬると美しいコマになる。中心の穴は通すヒゴ或は妻揚子の太さよりも小さい目にあけてヒゴなどがその穴にかたくなり様にする。ヒゴの長さは五センチ位にして下へは一センチ位出しえおけばよい。

この他に新入幼児のよろこぶ手技の材料としては粘土がある。粘土は入園當初の幼児にも、又年長組の幼児たちにもいつでも大いに歓迎されるものであるがこれの指導法についても一考を要するところが多い。幼児自身で立體的に形を作り出すものとして、

これほどよい材料はないのであらうと思はれる。

さて以上の材料を實際に取扱ふ上に、一組の幼兒の數や、その幼兒の智能の發育の程度、或は材料の都合などいろいろのことから、同じ材料で遊ばせるにしても各自指導するものが臨機の指導法を考へなくてはならない事は云ふまでもない。

又材料にしてもこれ以外に適當なものも考へられる事は當然である。常に親しく日頃遊んでゐる幼兒たちに最も適切なる材料の提供の出来るものは各幼兒の擔當する保姆であるから各自持場持場によつてたゞ研究する覺悟が手技指導の要諦である。

誘導保育

菊池ふじの

國民學校令が實施せられて茲に一年。自分が二ヶ年間いつくしめる兒等を送るべき國民學校、それと又、我も亦教育者の一人なり先づ知らざるべきんやといふ二つの意味に於て、この一年間、私共も亦國民學校の勉強にこれ務めて來たのであつた。勉強して見て愈々思ふことは、國民學校低學年の綜合教育が何とこの誘導保育に似てゐることであらう、と云ふことである。例へば陽春四月兒童の生活をとりまく環境が春である場合には、理數科に於ても圖畫に於てもまた讀方に於ても春に取材してあり、入學當初にはヨイコドモにも讀方にも理數科にも到る處、この入學したての生活に取材してあることは、堀先生御執筆三月號初等科一學年の各

科聯絡一覽表を見るに一目瞭然たるのである。實にこの横の繋りを持つところ、この誘導保育案が、本來幼兒の生活の中のものであつた各保育項目を、再び生活の中に綜合し融合してゆくとの軌道を一にするのである。

も一つは、生活の中に於てとか、兒童の生活に即してとか教師用書には到る處この言葉が用ひられてゐるが、この生活に即してゆくやり方はまたこの誘導保育案の爲し來つたところなのである。即ち誘導保育案は、幼兒の内にひそんで居り、芽ばえてゐる興味性をとりあげて生活主題として示し促すことによつて幼兒の生活目的となり、絶えずこの生活目的に即して、この案の遂行完成をなすのである。

以上の二つの點に於て實に幼稚園と國民學校低學年とが接近して來た感じがするのである。改訂「系統的保育案の實際の解説」には倉橋主幹によつてこの意味がよく盡されてゐる。然讀玩味せらるべきことなお奨めする次第である。

たゞ玆に注意しなければならないことは、獨り國民學校のみならず我が國の教育全體の根本に於て、天皇陛下の御爲、國の爲にと言ふ強い大目的の下に、總ての小目的は統合せられなければならないといふことである。即ち皇國の道に歸一せしめると言ふことである。今までだつて、この大目的の下にあつたのであるが、時局がこゝまで立ち到つて、今こそ高度國防國家建設の必要に迫られ、鑿國の精神に則つて大東亞共榮圈の確立に邁進しなければならない時、國の意志を常に各々の心に意志して、幼稚園の幼兒など雖も皇國民の練成に向かつて進まなければならぬのである。

と言つても二六時中、何から何まで直接的に強度國防國家建設の爲にとばかりはやかない時がある。皇國民への鍛成の爲に、その時代の心理を充分に捕へ生かしてゆくべき場合も實際の教育の場面には多々あるのであるが、これども決して児童中心主義からではなく、よりよき皇國民への鍛成の爲にといふ考方からであることを注意しなければならない。

つひ横道にそれてしまつたが、こんなわけで就學前に於て、この横のつなぎを持つ、綜合的學習生活への態度及び生活によつて興味を促され、動機づけられ、生活の具體性の中に統合せられてゆくの態度を養つておく必要が愈々大切になつたことを痛感するのである。

汽車

五月ともなれば、もうそろ／＼馴れ易い子供達は、子供同志連れだつて遊ぶやうになる。砂場などでも女の子はお菓子作りばかりでなく、時にはお山にトンネルを穿ち興するやうになる。男の子などは簡単な汽車遊びを始めるに違ひない。けれども子供達だけ任せていたのでは、構想を持つた、或る程度の強力な汽車遊びにまではとても發展し得ないのである。この頃に保姆は熱意を籠めて、一つ砂場の汽車遊びに進み出て見やう。この積砂場となると、粘土の汽車では少し規模が小さいから、子供達が自然に遊んでゐるのをそのままに積木の汽車にしやう。この積木に窓を描き入れたりすれば、より實感が起るであらう。野原を作り、山を築き川を掘り鐵橋を架す。野には雑草をあしらへ、レ

ールを敷く。これだけをみんなでしてもらひなに喜ぶことであらう。そして遊びがまだだんだんに生氣を帶びたものになるであらう。

共同の砂場であるから、その日限りのもの、或はよくいつて翌日位までが繼續時間であらう。

極く初步の、共同的計畫作業への導き入れが期待效果の主なるもの。

若し砂箱でも使って、もつと小規模といはうが精密といはうが、丹念なものを作る時には、汽車、レール、人、電柱などは粘土にて。この場合は大まかな手技としての期待效果も持てるのである。

この他、ごく初步の共同的計畫作業への導き入れとして、入園當時試みてみたものに、

まゝごと遊び用具作り

お皿—厚紙にて。色や模様をつけさせる。

御馳走—新聞粘土にて。色を塗らせる。お海苔巻、ハムライス、お寿し、西洋菓子、お饅頭、ホットケーキ等。

野菜・果物—新聞粘土にて。色をぬらせる。南瓜、胡瓜、茄子、おさつ、くわる等。

魚—畫用紙程度の厚紙にて。子供達に描かせるか又は先生が描いておいてもよい。色を塗らせ、切抜かせる。子供のしつてる魚いろいろいる。

お土產—おまごとに、訪問の時用ひるお土產があると、とても遊びが發展する、風呂敷も用意しておく。新聞粘土で作った西

洋菓子、お饅頭、ケーキ等をのし箱に入れるやうにする。

幼稚園の小鳥小屋—切り紙にて

クレヨンで、大判の紙に鳥小屋の繪を描く。子供で出来れば一番よいが、出来なければ保姆が描いてもよい。組の子供の切り紙の小鳥をこの鳥小屋へ貼つて見ると幼稚園の鳥小屋になる。

幼稚園のお池

切り紙でも出来る、自由畫でもよい。幼兒個々の金魚、鯉、小魚等が集つて幼稚園のお池になるといふ趣向。

幼稚園のお庭

砂箱でもよい。切り紙でもよい。又自由畫でもよい。

八百屋—切り紙にて

各幼兒に畫用紙ぐらゐの厚紙にて八百屋にあるものゝ中のごく簡単な形のものを描かせ、塗らせ、切らせて之を集め、八百屋らしい店を拵へて(平面に簡単に)みんなの作った野菜物をあしらへて店らしく作る。

この他、ごく簡単な案はいろいろあるであらう。丹念にと思ふとひ手がかつておつくうになるし、又、新入園兒ではとても

そう凝つたものは出来ないのであるから、ごく簡単にと計畫して、時々目先きの變つた、初步の共同的計畫作業への導き入れをすることである。

○丁度この讀の發行になる頃、四月八日、日比谷公園

に於て、眞珠灣攻撃に於ける、海軍特別攻撃隊の軍神九柱海軍合同葬が舉行される事が發表になつた。我等は肅然襟を正してこの九柱に感謝感激の獻禱を捧げずにはゐられない。虚子の「若草に老の涙はけがらはし」が獨りでに口すさまれる。

やがて又近く靖國神社臨時大祭が取り行はせられる。感謝感激が胸に目に溢れる。

○それにもしても、この子ども達を幼稚園としてどう育て、おくべきであらうか、「皇國の道」といふだけではともすると概念的な目標となりがちであるが、その具象的な幾多の事實の例證に富むこと今日の如きは前代未聞であらう。「三つ子の魂百までも」と言ふ意味で、兒等の鍛成の上にごく大きつぱな考として、如何なる困苦缺乏にも堪へられる體力及び意志力、それと愛國的熱情、こういふ方向に工夫を凝らさなければならない。

○新入園兒を迎へた幼稚園の新年四月。年長組になつたと大いに自重してゐる兒等、幼稚園の生徒になつたのだと瞳を見張つてゐる新入の兒等を迎へて、各幼稚園はどんなに楽しい御多忙の日々を送られておいでやせう。

(編輯子)

五月の園藝

幼稚園での準備

大 岩 金

前月播種したものゝ手入

草花

苗床に播種したもので本葉が四、五枚出たならば、他に苗床と同様の床を作り、此處に條間、株間各十厘位にして移植をする。

花園、その他適當の場所に直播したもの、即ち移植を嫌ふものは込み合つた苗のうち、なるべく丈夫さうな、害蟲などに食べられてゐないやうなものの丈を残して、前同様の間隔になるやうに、間引をする。

移植したものには一週間位経つてから、間引きしたものには直後、條間に淺く溝をつけて稀い液肥をやる。

尚サルビヤ、コスマス等のやうに、脇芽の出易いものは、最初本葉が七、八枚出た時に、五、六枚残して摘心し、その後脇芽が伸びて、葉が四、五枚出た時に、二、三枚残してその先を止める。このやうにして脇芽を數回繰返して出させる時は、一株で十數本の枝は容易に出させる事

が出来、花壇や鉢植にした場合に、形がよい。

蔬菜

二十日大根は發育が早いので、今月に入るご、もう大分赤い根がふくらんで来る。今になつて尙ふくらんでゐないやうなものは不良なものであるから間引く。あまり込み合つた部分も間引する。

間引した後、條間に淺く溝を作つて稀い液肥をやり、その上に覆土する。同時に根の地上にうき出でるものには土寄せをして根をかくしておく。

玉蜀黍の苗は適當な場所に定植する。

菜豆、枝豆、落花生等には稀い液肥をかけてから後、一週間位経つたならば、根元を少し離れた所に草、木灰のいづれかを撒いてやる。

ツルナは發芽する迄にはかなり日数がかゝるが、その後はずんぐ茂つて來るから十日に一回位の割合で稀い液肥をやるが、葉の軟かいものが長く引續いて収穫出来る。

その他三月に植付けした馬鈴薯で莖が一株から數本も伸びて居るものは、丈夫さうなものを、一、二本を残して根元から抜き取る。この時左手で根元を壓へ薯毎抜かないやうに注意する。次に畦の間を淺く中耕し三倍位に稀めた下肥を入れ、覆土を同時に上寄をする。

草莓に敷藁をしてない時、又は實の下から外れてゐるものに敷藁をする。

播種又は插木するもの

朝顔、夕顔は一般の春播草花よりも少し遅れて、五月早々に播く。即ち八十八夜頃がその適期であり、今年は二日が是に當つてゐるが、毎年二日か、三日である。

サルビヤ、マツバボタンなど、夏秋の花壇用草花のまだ播種してないものは早く播くやうにする。

大菊の插木をする。昨年咲いた莖の近くに澤山新しい莖が伸びてゐるから、この莖の先の方を葉を五、六枚つけて切り、この枝の下の方の葉を二、三枚切り取り、豫め鉢、又は箱に川砂を入れておいた中に直ぐ插す。澤山插木する場合には一先づ切取つた枝を清水中に入れておき、全部插す用意が出來た所で插すやうにすればよい。插したもののは根の出る迄は直接日光に當てぬこと、灌水に注意することが大切である。

蔬菜

前月掲げたものは今月になつてから播種しても差支へない。

植付けするもの

茄子、トマト、胡瓜などの苗が大きくなり苗屋の店頭に出て来る。

適當な場所を選んで植付ける。連作を嫌ふ茄子は一度栽培した所は六年以上、トマトは四年以上休作しないといけないから注意を要する。鉢、箱を用ひる場合は土を替へる事は勿論であるが、用器も充分洗つてから使用するやうにする。

そしてトマトには直ぐ假の支柱を立て、莖をゆるく結びつけておく。一週間も経つて充分に活著したならば、稀い液肥をやり、同時に本支柱を取替へる。

胡瓜は二年位休作すればよい。

甘藷の蔓を插植する。

關東地方では多く地拵へを鞍築にして舟底插にしてゐるやうである。鞍築といふのは全體の土地を軟かく耕した後、蕃蔓を插す部分を饅頭形に土を盛る事である。株間五十釐内外になるやうに土を盛つて行く。この中に、堆肥、藁灰などを基肥として入れる。

畑の用意が出来たならば諸の苗を插す。苗は二十穂位伸びたものに葉が十四、五枚もつてゐれば上等である。徒長したものであれば七、八枚位しかつてゐないものもある。

この苗を盛つた土の南側に、先の方を北向にするやうにして淺く上下を出して土中に插入する。但し上部を多く、下部は二、三穂位地上に出しておく。即ち舟底のやうに彎曲させて插入するのである。

甘藷は元來溫暖な氣候で乾燥を好むものであるから插植した後には灌水する必要はない。

害蟲驅除

櫻、バラ等に毛蟲がつく。早く氣をつけて方々へ擴がらないうちに焼き取るこか、切つて差支へない枝ならば静かに枝毎切つて始末する。

バラにはこの外蚜蟲がつき易い。是は手で潰してもよいが澤山であれば石鹼(テリス石鹼ならば尙ほ結構)を水にとかして噴霧器で蟲體が充分濕ふ程にかける。(晴天、無風の日にする(一))

夜盜蟲が第一回の發生をする。種々の草花や、蔬菜類の葉裏を見るごとに無數の小さい堅い卵がついてゐるのが見付かる。この時に卵を取つて焼くのが一番よいが、一度孵化したならば、なるべく早く見付けて取り除くやうにせねば方

々に散り大方の葉を穴一ぱいに食ひ盡す。出たばかりの時まだ葉裏にかたまつてゐるから靜かに下に何か受けておいて潰せば容易に驅除出来る。

青蟲

花から花へ飛び廻る蝶々をさも楽しそうに追ひ廻る幼兒を見ては、これを殺す事は氣の毒な感じがするが、この幼蟲は青蟲となり、かなり大害を興へる。夜盜蟲程に一ヶ所に澤山發生はしないが蔬菜類、特に葉菜類にあつては大きな穴を開けてゆくので是は見つかり次第取つてしまはなければならない。

地上の害蟲と同時に地中にも害蟲が潜んでゐる事を忘れてはならない。

灰色をした根切蟲は土際の所の莖を食ひ切つてしまひ、一本食ひ切れば、又次の株に移つて行く。萎れた苗が植つたまゝになつて居れば大抵その苗の下、又は近所にこの根切蟲がゐるから捕殺しなければならない。

頭部の黃色、胴の白い金龜蟲の幼蟲も根切蟲と同様の害を興へるが、是は根を食害して行くのである。同じく度々見廻つて捕殺することが必要である。

小倉幼稚園

福岡縣小倉市立幼稚園長

大浦キミ

事變も六年を迎へまして、大東亞共榮圈の確立、八紘一宇の大精神に基き、神國日本は東亞諸國と共存共榮以て世界新秩序建設につゝめねばなりません。皇國の大使命を貫遂する爲廣く國民の知識、創意、能力を培養するのは教育者として今日こそ全身全靈を捧げて御奉公申上げねばならない時でござります。

大元帥陛下の御稟威のもと陸に海に空に踏みしめる軍靴、握る銃剣、榮え輝く勇士達は只一意盡忠報國の血燃える時、私共教育者は銃後にありまして、燃える報國の心を以て眞の國民生活倫理の陶冶、訓練を受持ち幼き者のために心の奥底まで皇國日本の靈を植ゑつけ培ひ育てねばなりません。私共の幼稚園では、敬神崇祖の念を涵養し、皇國民として將來御役に立つ様にこの念願を第一義ご致しまして國の保育中心として奉齋殿に御奉仕申上げて居ます。

四大節　日々の登退園、奉公日、お節句等記念日には先づ御供物を致し、子供達ご禮拜祈念をこめます。特に十一

月十五日七五三のお祝ひには父兄全部、歸還勇士、留守宅の御遺族等を御招待申上げ子供日のお祝ひ慰安會を致します。特に非常時局下の子供としての心構へご致しまして、私共の幼稚園の信念とも申しますが集會の折は國民儀禮の後左の言葉を全園児靜かに朗誦致します。

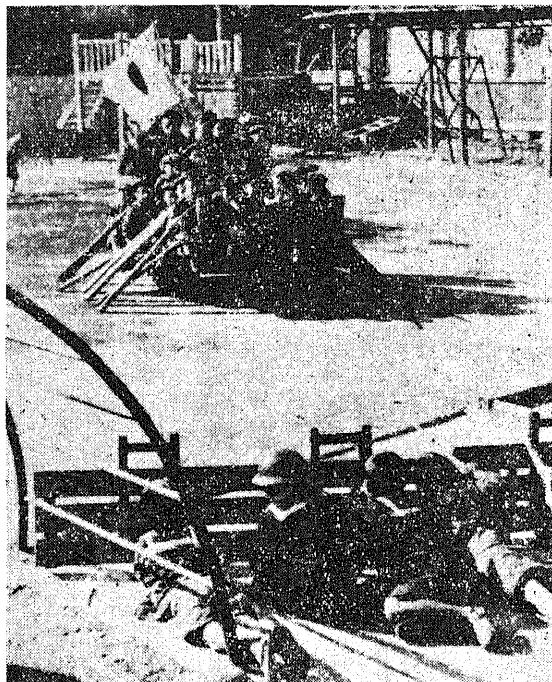
一、だいにっぽんはかみさまのおくにです

二、てんのうへいかはかみさまです

三、わたくしきもはにっぽんのよいこもです
尙ハヤネハヤオキヂヨウブナ子

ごいふ標語をモットーに一日の缺席遅刻も故なくしないといふ事を約束づけ、天氣の日は神殿に奉仕して清掃なご致しまして勤勞の型を培ひ、健康で明暎で彈力のあるひよきある張りのある將來性のある子供に育てたい念願にて保育致して居ます。唱歌遊戯等も幼兒らしき中に、國家觀念非常時局豊かなるものを選び、自由畫による指導にて表現の方法、自然物への感興等自然觀察と共に併行して指導等

小倉幼稚園



致して居ます。自由畫の指導はハリエの指導よりも大きくなり、心の響き腕の練習に効果的だと言じます。幼稚園保育は文字表現でないこの時代に系統的に自由畫の指導をするここは觀察(自然現象、社會現象)、談話(既に聞いたものや絵を表現)、手技(自由畫の中に手技を加味する)

保育五項目の綜合指導として自由畫位大切なものはないと思ひます。保育の重點を自由畫に置いて五項目の綜合指導を致しましたならば、創意創造の自由自在にして想像たくましい幼兒の生活は充實精鍊致されると思ひ、只今實施中であります。

十二月八日 大詔奉戴日にあたり幼兒に自由畫を致させました處、大人も及ばぬ太平洋上に於ける遅しき海戦の繪が出来私は涙が出来ました。戦はない子供、新聞を見ぬ子供、只先生の聲により感じた一場面が畫紙に飛躍たるものがあります。

感情の行きつまつた大人、感情自在なる子供、何と遅しき日本の幼兒ではありますか。其日は尚ほ運動場には南洋群島に敵前上陸する日本兵をして遊技化され運動場は果てしない海ミ化し實戦さながらの面白い遊びを致しました。大阪朝日新聞もこの可憐なる遊びを撮影されたものがありますので御送り申上げます。非常時局下を認識しながらゆきづまるこのない伸びゆく子供の爲に、大人物として何の方からでも陛下の御用に立つ子供として意氣込んで保育致して居ます。

立郡山幼稚園

福島縣私立郡山幼稚園

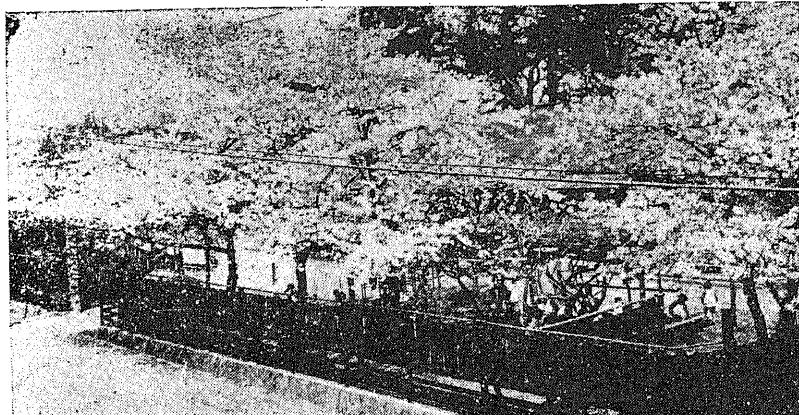
松山イ子

最も古くして最も新らしいのは教育でありますから新、古織り交ぜて経験して参りました我が幼稚園の沿革及び保母としての心境を申しませうが、小さな私の事業から受けた感懷を申し上げます。

社会に職業は澤山あります。如何なる職業もそれは神より與へられたる天職即ち聖業であります。聖業とは申すまでもなく其の職域を通して國家の聖業に参加されねばならない仕事であります。

創立に就いての順序は沿革に書かせて頂きますが、此の世に神が私共夫婦にお與へ下された聖業が幼稚園事業でありました事は、何といつても有り難く忝ない事で、創立以来三十五年如何なる日も私共は此の仕事に殆ど心の全部をさゝげて参りました。皇紀二千六百年の聲は日本の一大轉機として國家の聖業は大東亞に擴大されたのであります。ところが私の事業は此の聲と共に大きな致命傷を受けたのであります。それは事業上の土臺となり柱となり屋根ともなつてゐました前園長松山が「此の世の勉強是れで終り」の一言を残して此の世を去つた事であります。

国家は世界の指導者たる使命の遂行に命をかけて伸び行くのに、反対に私の事業はぬばたまの暗闇に包まれて仕舞ひました。家庭即ち幼稚園、幼稚園即ち家庭であつた私達の生活は大きな打撃の中に幾日か苦悶の日が續きました。そして其の暗闇の世界に一つの光を見出しました。その光とは「此の世の勉強是れで終り」といふ夫の殘した一言で生れ代り死に代りて飽まで此の事業を守りおぼせなければならぬといふ啓示であります。逝きし夫が信念を力によつて繼續された三十有餘年の歴史の中から生れた私の決意は「神と共にゆく」といふ言葉であります。国家は聖業完遂といふ言葉を頗りに呼びかけてゐます。神と共に受けばこそ聖業の二字が冠せられるのであると思ひます。國家は神と共に行くために國家の有つあらゆる力を總動員して絞り切つた生活の中に命をかけて力戦してゐます。此の時に當り私の一家も亦、小さい乍ら聖業のために命をかける決意を持てばこそ此の聖業が、國家の本流に參加する資格を天から與へられるのであると思ひました。「神と共に行く」爲め、神の御守護を頂く爲めには、神の私に賜つた此の事業への神意を、先づ悟らねばならなかつたので



あります。

只今日本は八

絃一字といふ言葉を世界に向つて高く掲げてゐます。よく思ひめぐらします

此の八絃一字云ふ言葉は二千六百年史の中から生れた言葉ではないと存じま

す。

歴史が生んだ言葉でない此の言葉は歴史の前に生れてゐる神

の理想を神武天皇によつて世界に宣言され給つたのであります。歴史には覺

えのない此の神の言葉の爲めに國家は擧げて、これに捧げてゐるのであります。

此の神國の聖業ご私の事業がまるで何のかゝはりもなく反対に致命傷を受けた時私は考へないわけには行かなぐなりました。營利事業でない此の事業が、何故に今日に至つて斯くも大きな打撃を受けるのであるかといふ事であります。私は神意の程を探ねました。そして何か天の理にそむいた事はなかつたかと、私の知つてゐる限り私の家の歴史には、かくも尊き事業を課せられた人のある事を知りませぬ。何ものにも代へ難き御國の楯となるべき幼兒を丹精し大和魂の磨きをせねばならぬ。現實の證據の前に、歴史には覺えのない事實を事實として保育事業を繼がせて頂く事を得た私の幸福を神を通して夫の靈に感謝いたしました。

今まで幼兒を保育するのみ考へてゐました私は、澤山の幼兒は私の魂を磨いて下さる大きな恩人である事を悟りました。今までの幼兒に對する心遣ひを恥かしく思ひました。

そして、「有難う」「相濟まぬ」の心で一杯になりました。

育てるのではない「育てさせて頂くのである」「教へるのでない」「教へられるのだ」「與へるのでない」「與へられるのだ」と思ひました。それ以來幼兒の行動は美しく正しく視られ、園児にはいさかひなく保姆はお互姉妹の如く親し

く睦ましく、近年稀れに見る在籍二百名といふ多數の園児は五人の保母の手薄い中にも楽しく遊び暮して歸りの時間をお惜しんでゐます。

二

事業方面も亦順當に運び、自分ながら不思議と思ふ位であります。夫の靈の御苦勞は申すまでもありませんが、神さまに連れて歩いて頂けるを確信して一切捧げる此の心を神様がお受け下さるのであらうと喜び勇んで勤めさせて頂いてゐるのは私ばかりではありません。お掃除役の小母さんを始め職員一同「己れの眼に映るものは一切己れの姿である」と感じて先づ自分を反省し然后に保育の方法を立てます。敬神崇祖の情操涵養につきめ、「すなほに」『正しく』からにも長上にさからふ事なき様誘導させて頂いて居ります。

左に新舊保育の實際を二、三記させて頂きます。

三

園児數 二〇四名(内男兒一〇〇名女兒一〇四名)

園長 設立者 根本祐太郎
保母 六名

保育料 貳圓(創立當時は金四十錢、大正十二年一圓五十錢、昭和十六年十月迄十九年間一圓五拾錢)
組の編制 梅、櫻、松、竹、桃の五組として年齢によつて分ける。梅の組は二年兒を以て編制す。

次に保育の實際につき二、三申上げます。

(一) 幼兒は朝登園致します。直ちに、奉安所前に至り最敬禮をなし、携帶品を所定の場所に置き自由遊びをいたします。九時半振鈴と共に幼兒は何れも國旗塔の下に各組別に整列し、各組より輪番に二人づゝ出で、掲揚の任に當ります。終つて會集室に入り朝の挨拶を交はし、保母は時局のお話をいたし皇軍の御勞苦を感謝いたし、誓願の言葉を奉唱致します。

私達は

天皇陛下の御ために生れ

天皇陛下の御ために働き

天皇陛下の御ために死す

以上を奉唱して後はいつも確固たる信念を握んだ様な魂の輝きを見ますので涙がこぼれます。

(二) 神社參拜、祝祭日、戰勝記念日、靖國神社祭、奉公日等には必ず參拜いたします。皇道精神を合掌の中に頂けるやう祈禱し出征勇士の滅私奉公の忠誠に對し感謝の祈願を捧げ、銃後國民としての心構へを話し聞かせ日本に生れた幸福を喜び合ひます。

(三) お祭り遊び
支那事變勃發以來休止して居りますが、當園では毎年九月二十七、八、九日の三日間の當市の鎮守祭典行事を保育行に織り込み、幼兒の活動性に適應したるお祭り遊びを實行

して居ります。

先づ用意しては樽御輿一臺(四斗樽)神一臺(何れも車付)大太鼓一荷、引手男女七十名程、神主一名、大麻司一名によつて始まります。

各兒の服装は兼て家庭この打合せにより男女兒何れも兄弟ゆづりの法被を着るも、女には當園保母の手になれる花笠を用ひさせ、黄金の手拭を頸に巻き伊達衆姿も輕がるさ、大太鼓を先頭に神車に、御輿に引手は別れて綱を引く。司は大麻を持ちてお抜ひをなす。神主は身に添へたる鳥帽子、束帶の崇高なるいでたちにて園長の指圖に従ふて、兼ねて定めたる道順に順次訪問して祝詞を上ぐ、立ち寄るべき家庭には(園児の家庭)前以て通知して置きます。樽御輿祝詞は左の通りであります。

カケマクモ、カシコキ、アサカクニツコジンジヤノミコシノ、ミマヘニカシコミ、カシコミマオサク、コノイヘノカナイアンゼン、オイヘハジヤウ、コクカアンタイチノリ、マツラクト、カシコミカシコミマオス。

かくて半日をワツショヽやれ引け、それ引けゝかけ聲勇ましく此の遊びにまけこんで當園に引き返し、園内にて料理したおでんをたべ萬歳を三唱して終りました。

(四)秋季遠足薯掘會は發案をそのまゝ記します。

一、時日 昭和十五年十一月五日(土)

二、場所 市内某根屋敷

三、會費 一人金十錢

四、目的 一、薯の觀察 二、自然に親しむ 三、勤労生活に

よつて國難排除の一端に資す

五、準備 一、シャベル三十個 二、會費領收控作製 三、附添の爲めに各組徽章作製 四、會員券(薯引替券作製の事)

一、保護者への文案
例年舉行いたし良好なる成績を收めて居ります薯掘遠足は明五日(土)從來と同一場所なる酒益の菜根屋敷で行ひます。(當日雨天の時は延期し日を改めて申し上げます)
子供の大好物であるサツマ薯がどんな所にどんな風に育つてゐるかを知らしめるばかりでなく、自分の勤労によつて得たる收獲の如何に愉快であるかを味はせたり又大地の育む偉大なる力は土に親むことによつて初めて判る事を直感せしめ度いものと存じます。就いては左記要項お含みの上母子御同伴にて半日の御溝遊を御試み下さい。

一、幼兒には帽子をかぶらせ靴の底を十分御注意下され遠足に適當な御支度に願ひます

一、お辨當は成るべくお握りとし湯呑みをお忘れなくおつかはし下さい

一、お土産として生の薯を持ち歸らせますから有り合せの果物籠が布の袋など必ずお持ち下さい

一、薯烟では到着すぐにふかし立ての温いお薯を駄味して頂きます

一、當日の使用として御一人十錢づゝお持ち下さい 以上

四、母の會

(二)昭和四年結成いたしました母の會は、爾來着々其の趣

旨に精進しつゝありましたが、當園としては、其の親達に再教育を施し且つ又幼兒の母親のみに限らず、市内一般より會員を募りまして大東亜建設途上の我が國婦人の覺悟を將來成人すべき幼兒の親としての保育法の研究をなし、非當時局にあつての婦人の心構へを正しく修得して頂く様に

毎月一回開催して居ります。

開會の際には必ず「母の會の歌」を定刻まで練習合唱して心から此の會にめぐり合った事を樂しみます。イ、先づ講演に移る前に當日話すべき要項を印刷に附して渡しそれを見ながら講演を聞いて貰ひます。

時には縣の社會新聞記者作山先生や市内國民學校長の幼稚園に對する御希望やら入學に就いての御注意やら拜聽いたします。

ロ、保健上に就いては醫學博士より季節に於ける幼兒の罹り易き病氣や、衛生等に就いての講演や、榮養食についての講習を行つたり又廢物利用の裁縫講習會等を主催いたします。

ハ、當園の誕生會には會長始め役員が出席して會食費の全部を支辨して下さいます。但し母の會費は一ヶ月十錢で我が子の籍が當園になくとも準會員として入會の方は一年六拾錢の會費で會員は相當にあります。

(二) 視察見學としては

市内の煙草專賣局、裁判所に於ける公判廷見學、同紡績

會社、郵便局並に電話交換局等を視察いたします。

かくして年十二回以上の集りを催して來りましたが、其中七回以上出席せられた會員には、年一回催します遊戯會の席上で園長より感謝狀を差上げます。名譽にかけやすく母の姿を見た時の幼兒の嬉しさはぎんなりせう。居ても起つても居られない表情です。家庭教育上有意義のものと思はれます。幼兒の父母の中には幼き日當園に保育を受けたものなか／＼多く、私に取りては孫に當るごもいふて然るべく從つて家庭と園との聯絡圓滑に運んで居ります。

五、誕生會

一、毎月十日に誕生會をいたします。其月生れのお子さんを正賓として、入場の時は拍手を以てお迎へいたします。

一人一人姓名を呼び上げます。呼ばれた祝のお子さんはお辭儀で答へます。保姆は日本に生れた添なさを述べ、無事に成育した事の感謝之意深き人生を最も尊く生き抜いて忠孝の道を守る事を訓じます。幼兒一同の代表者からはお祝として桃太郎誕生の貼り紙細工の柱掛及紙製籠に入れた祝鯛を贈る事にしてゐますが、幼兒の喜びは満面に溢れて見えます。終つて季節の果物を會食し、保姆は人形芝居や又は紙芝居などを、幼兒は幼兒の紙芝居や好きな遊戯や唱歌等の余興をいたします。此誕生會は行事の中で最もたのしいつぎひです。

講
習

兒童心理學

第三講

牛 島 義 友

今日は都市託児所の子供こか農村の子供の様に自然的、社會的環境が普通の幼稚園兒こ相違して居る子供達について考へてみよう。普通ふつう違ふたがふ言つても數の點から言へば斯る子供の方が遙かに多いのであつて、都會の中產階級の惠まれた子供は遙かに少數なのである。

此日本の子供の大部分を占める都市の無產者の子供や農

村の子供は如何なる生活をし、如何に成長發達して居るであらうか。託児所の子供は如何にも恵まれない子供達こどもたち見られて居るが、農村の子供を論ずる時には明るい大空の下ですくすく伸びて行く自然の子として恵まれた生活を想像する人が多い。農村の子供は果して恵まれて居ようか。乳兒死亡率の統計は農村の保健狀態を裏切つて居る。次に昭和十三年度の乳兒死亡の統計を示す。之は死産は除いて出生後の乳兒死亡數を出生百に對する比率で示したものである。

ルソー以來都會人は自然に對してロマンティックな夢を見て居る。農村には玩具や娛樂機關は無くむく木の實や竹等

道府縣

北海道
青森

一〇・六四
一五・〇八

三愛靜岐長山福石富新神東千埼群栃茨福山秋宮岩
奈

重知岡阜野梨井川山鴻川京葉玉馬木城島形田城手

一四·七三	一一·二三	一二·五四	二一·〇五	一〇·五五	九·八一	一一·九三	一四·一〇	八·四七	九·四八	一〇·七三	一六·六一	一六·四二	一六·五六	九·八七	八·七三	一二·八三	一二·二〇	二三·〇三	二三·七九
-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------

鹿官大熊長佐福高愛香德山廣岡島鳥和奈兵大京滋
兒 歌

島崎分本崎賀岡知媛川島口島山根取山良庫阪都賀

一三・八七
一一・二八
一〇・六八
一一・二七
一四・二二
一一・二三
一二・六一
一二・〇五
一一・二三
一二・四九
一三・〇九
一〇・二八
一二・九七
一二・七七
一四・六二
一一・二八
一二・八二
九・六二
一〇・二七
九・六五

此表は直接都市と農村との比較にはならないけれども大都市の附近の場所と文化から離れた東北、北陸地方では死亡率に著しい相違が見られる。東京と言ふ大都市は子供の健康の爲にはよくないと言はれて居るが其死亡率は逆に最も低くなつてゐる。即ち不健康な都市生活にも拘らず哺育、養護が行届いて居る爲に死亡率を低下させてゐるのである。之に對し他の健康に恵まれて居る筈の農村地方では育児知識や育児習慣の缺陷の爲に悪い結果を生んだと考へられる。

其他寄生蟲、栄養状態、結核等の點から言つても農村は必ずしも健康の理想境ではない。同様に精神的方面から言つても農村児を理想化して見るのは正しくない。如何にも農村児には都會児には見られぬ性格上の美點や意志的方面的發達が見られるかもしれない。併し又都會の者に比し劣つて居る諸點も澤山あり、之は放置しておく事は許されない教育問題であると思ふ。

先づ智能の發達状態について考へよう。愛育研究所に於ては神奈川縣の某村について年々智能検査や其他の研究を行つて居るが其一、二の結果を次に示す。精神發達簡易検査によつて國民學校新入生の智能測定をする其平均は八三位の智能指數となつて居る。三番目のものは保育所児に

ついて詳細にビネー式智能検査で測つたものであるが、其結果も簡易検査と全然同一であつて、三者の平均は八三・〇五となつて居る。

某村児の智能指數			
	人數	平均	標準偏差
昭和十四年 新入生	78	83.08	16.36
昭和十六年 新入生	96	82.24	17.17
昭和十八年 保育	52	83.84	10.31
		83.05	

乃至三%しか居ないのであらうが同じ標準で田舎の子供を例へてみると斯程まで多數にのぼるのであった。

斯る諸事實から考へるに都會の子供の智能を一〇〇とすれば農村の子供の指數は八〇乃至九〇位と考へられる。之は十歳の子供について言へば智能が一年分か二年分位遅れをくる事を意味する。

次に他の例として言語發達について述べやう。農村児は言葉が不得手であると言はれて居るが、吾々が語彙の検査

				語彙理解力の平均		
				人數	平均	標準偏差
幼稚園	A	81	55.37	7.91		
	B	54	54.00	6.41		
	C	32	55.91	5.94		
	D	119	59.65	8.95		
	計	286	57.00	8.26		
ナースリー・スクール	A	72	57.21	7.80		
	B	15	58.40	5.71		
	C	54	54.33	8.83		
	計	141	56.24	8.17		
	児所					
都市託児所	A	80	49.53	8.66		
	B	24	47.75	10.05		
	C	87	48.79	9.06		
	D	69	50.39	7.45		
	計	260	49.35	8.67		
農村託児所	A	212	42.09	10.32		
	B	54	47.20	8.02		
	C	42	43.71	8.97		
	計	308	43.09	10.00		
	児所					

をした結果如實に其事が現れて來た。右の表は都市の幼稚園、ナースリー・スクール(満二、三歳児)、託児所、農村との語彙理解力の比較を示したものである。此數字は偏差値で示したもので、五〇點が中心となる數である。幼稚園は都會の四つの幼稚園で少しあるが平均五七・〇〇である。幼稚園より年少なナースリー・スクールの場合も平均五六・一二で大差がない。處が都市の託児所になるご平均四九・三五となりて成績が悪いが、農村はそれより更に低く平均四三・〇九となりて居る。都市幼稚園との差は十四點にも達して居る。

斯の様に農村児童の知的發達は都會児童に比して著しく

遅れて居る。此遅滯は如何なる原因で生じたのであらうか。或者は素質の差など言ふかもしれない。農村の中優秀な者は離村して都會に出る爲に農村に残つて居る者は素質の劣つたものになり、其子弟であるから知的發達も遅れて来るのだ。説く。如何にも斯る素質の違ひもある。併し教育特に家庭教育にも隨分影響されて居るのではないかと考へられる。即ち生れた當座には大した差が無いのに成長するに従つて大きな差が生じたのではないかと考へられる。此事を證明する様な事實がある。吾々の處では乳兒の精神發達をも検査する事が出来るが、親の職業別に子供の精神發達を調べてみると次の様な興味ある事實が發見された。即ち乳幼児發達検査を種々な年齢の子供九百五十四名に課してみると一歳未満児の場合は専門的職業の子供も熟練勞働者の子供も大した差異はないが、一歳乃至四歳の者になるご上り下りに十點近くの差が現れ居り、五六歳だと十四點以上の差が現れて居る。即ち乳兒期には殆ど差の無かつた者に對しても大した差異はないが、一歳乃至四歳の者になるご上り下りに十點近くの差が現れ居り、五六歳だと十四點以上の差が現れて居る。即ち乳兒期には殆ど差の無かつた者に對しても環境の影響は年と共に著しくなり、幼稚園時代には著しい差を示して來て居る。此事實は單なる素質論で説明する事

遲れて居る。此遅滯は如何なる原因で生じたのであらうか。或者は素質の差など言ふかもしれない。農村の中優秀な者は離村して都會に出る爲に農村に残つて居る者は素質の劣つたものになり、其子弟であるから知的發達も遅れて来るのだ。説く。如何にも斯る素質の違ひもある。併し教育特に家庭教育にも隨分影響されて居るのではないかと考へられる。即ち生れた當座には大した差が無いのに成長するに従つて大きな差が生じたのではないかと考へられる。此事を證明する様な事實がある。吾々の處では乳幼児の精神發達をも検査する事が出来るが、親の職業別に子供の精神發達を調べてみると次の様な興味ある事實が發見された。即ち乳幼児の發達検査を種々な年齢の子供九百五十四名に課してみると一歳未満児の場合は専門的職業の子供も熟練勞働者の子供も大した差異はないが、一歳乃至四歳の者になるご上り下りに十點近くの差が現れ居り、五六歳だと十四點以上の差が現れて居る。即ち乳兒期には殆ど差の無かつた者に對しても環境の影響は年と共に著しくなり、幼稚園時代には著しい差を示して來て居る。此事實は單なる素質論で説明する事

は出來ず、環境の影響が極めて著しい事を示す。従つて今日託児所や農村の子供の成績が悪いのも教育如何によつてはもつと向上させ、幼稚園児と同様の水準にまで達せさす事が出来る事を教へて居る。茲に農村保育の重大なる使命が存する。

は出来ず、環境の影響が極めて著しい事を示す。従つて今日託児所や農村の子供の成績が悪いのも教育如何によつてはもつと向上させ、幼稚園児と同様の水準にまで達せさす事が出来る事を教へて居る。茲に農村保育の重大なる使命が存する。

では今日農村

食事に關して

六一名、都市児數は二四五名であるが以下百分率で示す。
(尙保育態度は代表的なもののみを掲げた。其他の態度もある譯である。従つて百分率を加へても一〇〇にはならない。)

都會	農村
六二・三	一四・五
三四・八	八五・五
二五・二	七〇・九
七九・〇	二八・五
三九・六	六七・一
三三・七	一二・五
八四・五	六四・九
三・一	四・三
七一・八	三六・九
二三・〇	六三・一
七三・一	二四・一
二六・六	七六・〇
九一・四	六四・八
八・七	三五・二

乳の時間を定めたもの
定めぬもの

泣けば直ぐ乳を與へたもの

與へぬもの

添乳せるもの
せぬもの

次子出産前に授乳を止めたもの

其後も與へたもの

食事の時間が定めてあるもの

不定のもの

間食の分量の定めであるもの

好きなだけ與へるもの
買食はさせないもの

させるもの

食事に關しても斯の様に好ましくない状態が農村の方が極めて多い。尙離乳完了の時期をみると都會では平均一年

会知識階級との保育状況を比較してみよう。農村児数は一

育状況調査報告(愛育研究所紀要第一輯)によつて農村と都會知識階級との保育状況を比較してみよう。農村児数は一

睡眠に關して

獨りで眠るもの

誰かと一緒にねるもの

睡眠時間の定めてあるもの

不定のもの

朝無理に起するもの

然らざるもの

四六・四
五・九
九一・八
三六・九
六三・一
一〇・三
八九・七
七四・六

無選擇のもの
二七・四
五・八
九一・九
七六・四

二二・六
二三・六
九一・九
五・八
九一・九
七六・四

排泄に關してはおむつをはづした時期を調べてあるが、

起きてゐる時には平均都會では一年七ヶ月ではづすが、農村では二年七ヶ月まで不自由な姿のまゝにさせられて居る。寝てる時には都會では二年一ヶ月までおむつをつけたが、農村では二年九ヶ月までつけてねる。

其他の教養に關して

何時も抱いたり貯つたりしてゐるもの

然らざるもの

貯さらぬもの

働く時に子供を貯さつてゐたもの

遊ぶ時に家にある様に仕向けるもの

然らざるもの

賭遊びを放つておくもの

然らざるもの

玩具を選択して與へるもの

五八・〇
四二・〇
八・七
九一・三
三七・六
六二・五
二・六
九七・五
七〇・九
三七・四

以上の表で詳細に分る様に農村の保育状態は全く放任的であり、無思慮的である。自然的と言へば全く自然的ではあるが斯る自然性は讚美すべきものではなく、改良し反省すべきものである。
 前にも述べた如く農村生活には教育上好ましいものも澤山ある事は認め。併し其缺點は缺點として素直に認め、其改善に努力しなければならない。或人は頭がよくちや百姓なんかやつて居れない。農村を維持するには智能や教育等はどうでもよいのだ^ミと暴言をほく人もある。併し此態度は農民をいつまでも小作人や農奴の様な状態に止めんとするものである。今後の日本の農民は科學的知識を持つて常に改良し増産して行かねばならぬ者であり、外地に向へば指導者として農業を經營して行かねばならぬ者である故に農村兒童の教育問題はもつと真剣に考へねばならぬものと思ふ。

月刊「幼兒の母」に就て

幼稚園の家庭教育指導のはたらきの一助にも。一昨年 た方が御便利かと思ひます。一年拂は十一ヶ月分。

一月、月刊「幼兒の母」を始めてから、もう三年になります。毎號甚だ不出來ですが、それでも廣く各地幼稚園の御贊同を得て、月々ご、保護者へ配つて下さる方が多くなりました。

あんな小さいものですが、従つて内容も簡単至極のものですが、毎月一萬數千のお母さんに讀んで貰へるご思ふご、大によろこんでゐます。ほんの四頁ごいふのも、忙しいお母さんの立読みにもごいふ、初めからの計畫で、手にされ方には皆、讀んで下さることゝ、これが何よりなのです。就ては、從來の方々は勿論おつゞけ願ひますし、新らしい方々にもお願ひいたします。尚ほ、今まで毎月「幼兒教育」で御覽の上の註文を本體に願つてゐましたが、もう大體お分り下さいましたことゝ、思ひますし、月々の御申込みは、皆さんの方にも御手數の多いことですから、半年分なり一年分なりまごめて御註文下さるやう願ひます。當方でも印刷部數の豫めきまつてゐるこしが、時節柄必要になりましたのです。それで新らしい幼兒の入園から新たに御配布の方も多いと思ひますから、四月を始めとして、四五、六、七、三四ヶ月を一期、九、十、十一、十二、三四ヶ月を第二期、一、二、三三ヶ月を第三期としてまごめ

一、御註文は十部を一單位として、實費を左の通り申受けます。

○十部 金貳拾錢（一部金貳錢）

○送料 十部まで三錢 二十以上送料不要

○十部以下の端數はおこごはりします。

一、御註文の節は部數ご何ヶ月分ごいふことゝ御送り致す宛名を特にはつきりお書き記し下さい。

一、右御註文のお申込みご同時に必ず前金でお拂込み下さい。本會の振替口座（東京一七二六六番）をお用ひ下さるのが御便利です。

一、お申込みお拂ひ込みは、東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、日本幼稚園協會死。

序に甚だ立入つたことのやうですが、御利用の仕組は（イ）幼稚園が保護者に無料で配布される場合、（ロ）實費を保護者銘々の負擔となさる場合、（ハ）幼稚園内の保護者會或は母の會等が費用の負擔をなさる場合等、その他いろいろの仕組があらうご思ひます。

充分御利用下さい。

大東亞戰爭必勝完遂



昭和十七年 四月

我子を入園させる心

——國民的祈願——

朝早くから目をさまして、さつさと仕度くを怠いで、いそぐと先きへ歩いてゆく。我子ももうこんなに大きくなつたものかと思ふお母さんの心は、どんなに嬉しいことでせう。御自分もにこ／＼まるで、自分が入園するやうな、かわいらしく、いゝお顔をしてゐられます。我子の生育ほど、母に喜びを感じさせるものはありません。そのお母さん的心には、我子の将来が金色に浮んでゐることでせう。えらくなつてお呉れ。賢くなつてお呉れ。名を揚げてお呉れ。こんな心も、未たのもろく浮き上つて來ることでせう。我子の幸福を想ふ母の祈念ともいふものでせうか。

しかし、我子を入園させる心はこういふことだけではありますまい。眞に日本人らしい日本人になつて下さいよ。國のお役に立つ國民になつて下さいよ。陛下に忠義を盡す國民になつて下さいよ。——これこそ、日本のお母が、我子を入園させる心です。國民學校へ我子を入学させる心が、此の通りであることは言ふまでもありません。幼稚園の場合でも、可愛らしさの中ふうわりと包まれてこそ居れ、國民的たることに於て、母の心の奥は全く同じです。

○御入園でおめでたうござります。お子さんも、どんなにかお喜びでせうが、何んといつても、小人數の我家から始めての世の中(?)ですから、お子さんも氣づかれがありません。樂しいなりに初めの興奮といふものは多少ともおありでせう。それをよく氣づけて上げて下さい。

○幼稚園から歸つたら、手を洗ひ、うがひをする。これだけは是非初めからつけたい習慣ですが、その後は、軽いお入浴も結構でせう。子どもなりに一休みといふところです。たゞ當節、そのおやつにお困りでせうがね。

○夕御飯は成るべく早く、そうして早寝。これこそ第一番の肝要です。どんなことがあつても夜ふかしは絶対禁物と忘れないで下さい。ゆうべ睡眠が足りてゐるかがないか、幼稚園ではすぐ分りますよ。そして、親御さんをうらみますよ。

幼稚園から

幼稚園の樂しさ

倉 橋 惣 三

本榮位向きお菜

厚生科學研究所 国民榮養部 佐々木理喜子

を許されるならば、生活感を一ぱいに感じ得ること、生命感を最強く感じ得られることです。それが、家庭では、いろいろの事情から多少抑へられます。子ども心にも、素より希つてゐることですが、

暖い春の陽さしに、花も鳥もほゝえみ歌っています。新しい皆様を迎へた幼稚園は、もつと楽しいでせう。元氣な子供になる様に不平を云はず、何でも工夫して食べませう。

口幼稚園の目的はいふまでもなく教育です。わけても國民的教育こそ其の主眼點です。しかし之れは親の方の心、先生の方の心にあることで、子どもの方では、そういうふことを考へてゐる譯でもありますまい。よい子になり度い。ほんとうに日本人であり度い。といふことは、子ども心にも、素より希つてゐることですが、

心の表てにだえずそう思つてゐるものではあります。そこで、子どもにとつて幼稚園がどういふ所かといへば、全く樂しい所です。

口幼稚園はなぜそんなに楽しいのでせうか。何が子どもの心に楽しいのでせうか。

一 幼稚園では思ひ存分に遊べるからです。遊ぶといふことは、子どもとしては真に生きてゐること、むづかしい言ひ方

た幸です。場所、道具、それだけでも家庭より豊富ですが、遊び相手のゆて呉れるところこそは、幼稚園で始めて味はへる喜びです。おとな相手だけでは、どうも充たされ得ない、最も強く求めるものがこゝでは與へられるのです。その上それがどこまでもお互であることが、何んどもいへない嬉しいことでせう。

三遊び方を導いて貰へること。これも

【1】 煮干と野菜の煮付(御辨當)
材料 煮干一五瓦 馬鈴薯四〇瓦 青菜少々 油三瓦 以上で蛋白質八・五瓦 溫量九六カロリー

作り方 煮干は小さい軟いのが結構で、大きいのは、二つに折ります。お腹にある黒い所は、苦味が強いので取去ります。少量の水で軟く煮て、砂糖、醤油で濃く味付けます。馬鈴薯は程よく切り粉吹きに、青菜は油で炒めて鹽味で、以上を盛付けます。

【2】 海苔巻き(同上)

材料 ほうれん草三〇瓦 卵二五瓦 人

亦幼稚園でこそ得られる喜びです。幼稚園の先生は遊び指導の研究と熱心と熟練とを、疲れも知らないで、子どもの爲に盡して下さるのです。子どもは、こんな面白い遊び方があるものかと思ふ位でせず、又獨りでは決して得られない楽しみが、次から次へ與へられてゆくのです。

□家庭ではぐす／＼鼻を鳴らしてゐた子が、幼稚園では如何に元氣なのでせう。間食ばかりほしがつてゐた子が、お弁当まで、なぜそれをすつかり忘れてゐるのです。外からの樂しみなんか不要な程でせう。外からの樂しみなど必要ない間に、内からの樂しさに充ちてゐるからです。幼稚園にゐる間の子どもの顔を、體を御覧なさい。眞の内からの喜びが、盛り上つて、溢れ切つてゐます。

□こういひますと、なんだ、楽しいなんてなあんだといふ人があるかも知れません。しかしそれは、親でない人のいふことです。ほんとうに子どもを可愛がらない人のいふことです。我子がそんなに樂しみ喜ぶだけでも、幼稚園のねうちは充分だとさへ思へるのが親心でせう。

しかも、その樂しみが、先生の計畫と指導の下に與へられてゐるのであります。こんな安心なことがありませんか。

□安心ばかりでは足りません。その一ぱいの生活が、どの位子どもの生命を発展させ、充實させ、發達させるものであるかは、子どもの生命を少しでも深く考へる人の、すぐ心つくことです。そしてそれが、我子の爲の一一番の教育、少くも最基本的な教育でなくて何んでせう。私達は、こゝで、幼稚園の樂しさが、どういふものであるかを考へてゐる間に、その教育的ねうちを、かちりと囁みあてたやうな氣がします。

□子どもを、たゞ樂しませることだけ考へてゐるのではありません。

しかし、どんな教育的目的が持たれてゐるとしても、子どもに樂しまれないでは幼稚園ではありませんからね。

【3】メザシの蒲焼と清汁

作り方 並通の海苔巻の材料を工夫して作ります。ほうれん草と卵焼、人参と櫻海老を水気を去り、少量の醤油をふつて、暫く煮てよく絞ります。卵は薄焼きにして程よく纏ります。人参は一寸位に切り、並通に味付け、櫻海老も同じに味付けます。ほうれん草と卵焼、人参と櫻海老を夫々取合せて、二種の海苔巻を作ります。並通に味付け、櫻海老も同じに味付けます。ほうれん草と卵焼、人参と櫻海老を夫々取合せて、二種の海苔巻を作ります。

材料 メザシ五〇瓦 葱二〇瓦 人参一五瓦 干うだん八瓦 以上で蛋白質八瓦、温量一〇三カロリー

作り方 メザシの頭と中骨を取り、砂糖醤油に二時間位浸し、中火で焼き、途中で二回位、浸汁をつけます。井に御飯を盛り、上にのせます。併しこのメザシも當筋は仲々手に入りません。漬けがよく店に出てゐますが、あれを求めて糠を洗ひ落し、以上の様にして用ても結構です。人參、葱、干うだんで並通の清汁を作ります。

四月の衛生

醫學博士 齋藤文雄

ら又少々着せておきませう。こうして段々と着物の數を減らして参ります。

□都會のお子さんはこの頃喰べ物は何でせうか。隨分困つてをられる方もありますでせう。これも暫らくの辛棒ださうですから勝つためには我慢しなければなりません。然し不足は不足として一つ考へて見なければならない事があります。喰べ物を無駄にしてはいけません。

□今日はお花見です。少ない乍らも取つておきの餡玉やらお菓子やらを持たせてやります。お子さんは電車の中でも歩いてゐても口を絶えず動かしてゐます。どうしてお花見の日だけはこんなに不しだらに物を喰べさせてよろしいのでせうか。これはいけません。やはりお花見の日でも物を戴く時間はきちんととしておきませう。だいぶお子さんに喰物を持たせること自身がよくないではあります。もうじつとしておられません。日が長くなりまし、寒くもありませんし、何時までも外で遊んで呉れま

す。お腹一杯喰べてすぐ寝てしまふ事は餘りよい事ではありませんから、お子さんのお夕飯は日が暮れてから等漫々的ではいけません。たとひ日があつても適當な時間に夕飯をすませておく方がよろしいのです。

□日盛りの菜の花の匂ひ、枝もたわゝに風に搖れる櫻の花、こんな時候に衛生のなんて陰氣くさい事考へておられますか。しづ心ないのは花ばかりではありません。人間でもさうです。御子さんでさうです。本當に誰でも自然に胸が膨らんでくる様な時候です。

□こんないゝ時候になつて來ますとお子さんの身體の中でも色々と變化が出て参ります。もうじつとしておられません。日が長くなりまし、寒くもありません。日が長くなりまし、寒くもありま

せんし、何時までも外で遊んで呉れま

す。お腹が空いて澤山喰べ終つた時はもう暗くなつて寝ねる時間が來てるま

す。お腹一杯喰べてすぐ寝てしまふ事は餘りよい事ではありませんから、お子さんのお夕飯は日が暮れてから等漫々的ではいけません。たとひ日があつても適當な時間に夕飯をすませておく方がよろしいのです。

□春は晝と夜の溫度の差が割合に大きい時です。日中晴天の日は相當暑い位ですが夕方になると急に冷え込みます。着物の調節、これは相當細かにやらなければならぬ時です。日中は汗をかくない程度に薄着にいたしませう。日が傾いた

□さあお子さんの鍛へ時です。身も心も櫻の花の様に美しくして参りませう。

キンダーブック改題 ◇月刊幼児繪雑誌◇

觀察繪本ミクニノコドモ

お子たちの保育に——時代は要望する

幼稚園に託児所に家庭に、幼児保育の重要な一役を擔ふ繪本を。

明るい面白さと、正確で健全な繪本を「強い日本」の「強い子供」の爲に。

大東亞共榮閣確立の遅しい指導的意慾を盛つた、力強い繪雑誌ミクニノコドモを。



毎月二十七日全國書店一齊發賣

一冊 定價 金三十五錢

倉橋惣三先生、岸邊福雄先生、清水良雄先生、西條八十先生、小松耕輔先生、三田谷啓先生、西村真琴先生、及川ふみ先生、小川正道先生、和田實先生、高崎龍樹先生、土川五郎先生、久保良英先生、久留島武彦先生、赤羽吉子先生、關寛之先生其他十數氏。

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
毎月一回發行

昭和十七年三月二十八日印刷納行

(停) 定價參拾五錢

株式會社 日本保育館

番二六六三(33)話電 四・二町保神・田神・京東 社本
番七二八三 所張出
番八三九一(24)話電 六二・五町後備・區東・阪大